第74回 全日本剣道選手権大会

第65回 全日本女子剣道選手権大会



ときは 令和8年 11月3日(火・祝)
午前 9時45分開会
午前10時20分試合開始

ところは 日本武道館
(東京都千代田区北の丸公園2-3)

■主催／公益財団法人全日本剣道連盟　■主管／一般財団法人東京都剣道連盟
■後援／スポーツ庁・読売新聞社・毎日新聞社・公益財団法人日本武道館

https://www.kendo.or.jp

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

（竹刀の本意）

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

（礼法）

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

（生涯剣道）

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

大会次第

1.	係員集合	7：30
2.	選手集合	8：00
3.	選手整列	9：40
4.	役員・審判員整列	9：45
5.	開会式	9：45～10：05
6.	日本剣道形	10：05～10：15
7.	試合１回戦男女各２試合場（各16試合）	10：20～12：30
8.	試合２回戦男女各２試合場（各８試合）	12：45～13：50
9.	試合３回戦男女各２試合場（各４試合）	14：10～14：45
10.	試合４回戦男女各１試合場（各４試合）	15：05～15：45
11.	試合女子準決勝１試合場（２試合）	16：05～16：25
12.	試合男子準決勝１試合場（２試合）	16：25～16：45
13.	試合女子決勝１試合場（１試合）	16：55～17：05
14.	試合男子決勝１試合場（１試合）	17：10～17：20
15.	閉会式（表彰）	17：30～17：55

※４回戦まで男女同時進行とし、準決勝・決勝は女子、男子の順に行う予定。

開会式

1.	選手整列	…… 9：40
2.	役員・審判員整列	…… 9：45
3.	国歌斉唱	
4.	天皇杯・皇后盃返還（レプリカ授与）	
5.	優勝旗返還	
6.	10回出場表彰	
7.	大会会長挨拶	
8.	関係者紹介	
9.	試合上の注意	
10.	選手退場	……10：05

閉会式

1.	選手整列	……17：30
2.	役員・審判員整列	
3.	表彰	
4.	優秀選手発表	
5.	大会会長挨拶	
6.	退場	……17：55

第74回　全日本剣道選手権大会要項抜粋

１　趣　　旨

剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた選手により、天皇杯の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

２　選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

３　出場選手資格および人員

⑴　各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している男子。

⑵　年齢は満20歳以上とし、段位の制限はしない。（年齢計算は、今大会前日の令和８年11月２日を基準とし、平成18年11月２日以前に生まれた者）

⑶　予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。
予選会出場者は、令和８年４月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

⑷　出場選手人員は次のとおりとする。
東京…４名
埼玉・千葉・大阪・福岡…３名
北海道・茨城・神奈川・愛知・兵庫…２名
その他の府県…１名
前年度優勝者…１名　　計64名

４　試合・審判および試合方法

⑴　全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。

⑵　試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位（２名）を決定する。

⑶　試合は３本勝負、試合時間は５分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に１本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってからの試合時間は３分区切りで勝敗が決するまで継続する。

５　表　　彰

⑴　選手権者には、天皇杯・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

⑵　第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

⑶　優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

⑷　出場選手には参加賞を贈る。

第65回　全日本女子剣道選手権大会要項抜粋

１　趣　　旨

女子剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた女子選手により、皇后盃の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

２　選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

３　出場選手資格および人員

⑴　各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している女子。

⑵　年齢は満18歳以上とし、段位の制限はしない。（年齢計算は、令和９年４月１日を基準とし、平成21年４月１日以前に生まれた者）

⑶　予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。
予選会出場者は、令和８年４月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

⑷　出場選手人員は次のとおりとする。
東京…４名
埼玉・千葉・愛知・大阪…３名
茨城・神奈川・静岡・兵庫・福岡…２名
その他の道府県…１名
前年度優勝者…１名　　計64名

４　試合・審判および試合方法

⑴　全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。

⑵　竹刀の基準は、大学生・一般の長さ、重さ、太さとする。

⑶　試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位（２名）を決定する。

⑷　試合は３本勝負、試合時間は５分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に１本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってからの試合時間は３分区切りで勝敗が決するまで継続する。

５　表　　彰

⑴　選手権者には、皇后盃・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

⑵　第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

⑶　優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

⑷　出場選手には参加賞を贈る。

我が国の剣道の流れ

徳川幕藩体制の崩壊――明治維新の政道一新によって衰頽の一途を辿った剣道界は、明治28（1895）年、大日本武徳会の創立を転機として復興への曙光を見出し、次第に発展への途を歩み、昭和初期から10年代にかけて最盛期を迎えた。昭和４（1929）年には天皇の御即位の大礼を祝って天覧武道大会が催され、同９年には皇太子殿下御誕生奉祝天覧武道大会、同15年には紀元2600年奉祝天覧武道大会と前後３回にわたって全国から精鋭をすぐって大規模な優勝試合が行われた。この頃は日本の国勢の目覚ましい伸張とあいまって剣道の隆盛はその極に達した観があり、日本剣道史はじまって以来最も普及充実した時期であった。

しかるに第２次世界大戦の敗戦は、剣道界に潰滅的な打撃を与えた。日本占領の連合軍の施策の中にあって剣道は、手ひどい弾圧を受けた。学校教育としては全面的に禁止され、社会体育の場においても厳重な制限を受け、かつまた創立以来わが国武道界の総本山として武道の普及振興を一手に掌握してきた大日本武徳会は解散を命じられ、剣道界は全く火の消えたような状態となった。

昭和27（1952）年、わが国の独立が回復するとともに剣道復興の動きはにわかに活発となり、全国の剣道愛好者の熱烈な願いが実を結び、同年10月全日本剣道連盟が設立された。これによって長い空白時代を経て剣道は再び愛好者の手に戻り、剣道界再出発への基礎が確立された。

全日本剣道連盟は発足とともに剣道界再建のために活発な活動を開始した。すなわち新しい出発に際し、審判規則ならびに称号段位制度の制定や、諸制度の整備を行い、事業面では翌28年から京都武徳殿における剣道演武大会の復活をはじめ全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会の三大会を主催するまでになった。さらに居合道、杖道大会をも加え、国民体育大会（現国民スポーツ大会）には30年から正式種目として参加し、そのほか大学、高校、中学、少年錬成大会など共同主催９大会と後援30以上の大会をと広い分野にわたって剣道の普及振興に努めている現況である。

第一に剣道の国際的発展である――日本独特の剣道の世界的普及――しかも海外の剣道愛好者は単に剣道の技術の習得だけではなくむしろ剣道の真のよさ、いわば剣道の心にひかれて剣道を行っている点に大きな特色がある。昭和45（1970）年国際剣道連盟（FIK）が結成され、現在では64か国・地域が加盟し約100か国で活動している。FIK結成と同時に第１回世界剣道選手権大会が開催され、第20回大会は2027年日本武道館にて開催予定である。また海外の愛好者が毎年来日して研修に努めており、全剣連ではこれらの人びとのために毎年、指導者講習会を日本で開催しているほか、海外各国に指導者を派遣して指導と交流に努めている。FIKは現在、国際オリンピック委員会（IOC）傘下のAIMS（IOC非承認競技連盟連合）にKendoとして加盟している。

次に剣道界への女性の目覚ましい進出である。従来は男子は剣道、女子は薙刀というのが常識であったが、戦後女性の剣道界への進出は実に目を見張らせるばかりである。現在は下は小、中学生から上は高校、大学生、あるいは社会人に至るまで、その進出は著しく、令和７年度の剣道初段合格者23,685名のうち9,413名が女性であるという事実から見てもその進出振りがうかがえる。全剣連としては、昭和37年から全日本女子剣道選手権大会を開催している。また同時に学生界でも高体連は同38年から女子の参加を認め、全日本学生剣道連盟でも全日本女子学生剣道大会

を男子の大会と併行開催している現状である。

第３の特色は少年剣道の目覚ましい隆盛である。戦後、特に昭和30年頃から剣道が隆盛になるにともなって少年の間に剣道熱が高まってきた。これは剣道のもつ特性が少年の人間形成に及ぼす影響に対する評価が認識されるにつれて、家庭におけるしつけの問題と関連して、道場に通わせて剣道を修めさせる家庭が多くなったのに起因するところが多いと思われる。これにともなって私設道場も各地に続々と設立され、毎年夏期に日本武道館において開催される少年剣道錬成大会には全国各地から父兄付き添いで数千名の少年剣士たちが参加し、錬成に励む姿はまさに熱気を帯びている有様である。この少年剣道の隆盛にともなって、近年の社会的特徴である家庭婦人にも剣道愛好者が増加した。その家庭婦人に剣道精進の励みを与えるとともに、生涯剣道の目標を与え、併せて青少年の健全育成に資するために昭和59年に第１回の全国家庭婦人剣道大会が開催され、平成20年第25回まで実施した。以後、家庭婦人のみならず、広く女子剣道人の大会として、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会とあらため、開催されている。

このように現在の剣道は剣道人口の底辺の拡大、国際的発展、女性も含めて青少年層への目覚ましい普及などに見られるように日本民族の輝かしい文化的所産として正しく認識され、確実な発展を歩み続けている。

女子剣道の現状

わが国の女子剣道の普及・発展は近年特に著しく、戦後の剣道の新しい流れとなっている。

本大会は、全日本都道府県対抗剣道優勝大会の第10回を記念し、昭和37年５月３日に５県８名の参加により、第１回大会が開催された。

昭和46年の第10回大会には参加選手37県44名と充実し、大会名を選手権大会と改め、また都道府県対抗大会 と同日に行っていた本大会は、昭和62年第26回大会より独立し開催した。

また、かねてより熱望してやまなかった皇后盃が、平成９年第36回大会より優勝者に授与されることとなり、名実ともに女子選手権者の決定大会となった。

女子剣道の底辺は広くなり、幼少年から中・高・大学生・一般、さらには既婚者等と各地域・職域において盛んに行われている。

また全国規模の女子剣道大会は、本大会を皮切りに各関係団体の尽力により華々しく開催され、現状の隆盛を見ることが出来たことは実に喜ばしいことである。

さらに本連盟では、女子剣道の普及現状に鑑み、昭和59年にママさん剣士による第１回全国家庭婦人剣道大会を、昭和63年第１回女子剣道講習会の開催、平成10年第１回女子剣道審判講習会の開催、平成28年女子剣道指導法講習会の開催、また女性剣士による討論会の企画・実施など、女子剣道の正しい普及・振興に寄与している。

さらに平成18年度より、女子審判法研修会を女子剣道七段の中から指定して開催し、平成21年度より全国家庭婦人大会に変わり実施する全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会ならびに全日本女子剣道選手権大会の審判に起用している。

あいさつ

公益財団法人 全日本剣道連盟
会長　真砂　威



菊花薫る文化の日、第74回全日本剣道選手権大会・第65回全日本女子剣道選手権大会をここ日本武道館において、全国各都道府県での予選を勝ち抜いた精鋭を迎え、開催できますことは、誠に喜びにたえません。

2024年より、男子・女子の全日本選手権大会を同日に開催しておりますが、文化の日に日本武道館で開催できますことは、大変意義深いものがあります。本大会が開催できますのも、予選会開催などを実施していただきました各都道府県剣道連盟のご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。

顧みますと戦後の困難な時代を乗り越え復興した剣道は、当時の予想を遥かに超える発展を遂げました。この歴史の中、すべての剣士に門戸を開いて行うことにした全日本剣道選手権大会の果たした役割は大きなものがあります。第６回大会（昭和33年）からは天皇杯を授与されることとなり、一般からも大きな関心が寄せられるようになりました。

また、全日本女子剣道選手権大会については、昭和37年第１回大会を大阪府で開催して以来、愛知県・静岡県・兵庫県・長野県・奈良県で開催し、平成９年には皇后盃が下賜され、女子の剣道大会の中で最も権威ある大会となりました。

こうした長い歴史の中で、先人の方々が築き上げ、大切に守り育ててこられた剣道は、今や我が国を代表する武道の一つとして、国内のみならず世界各国に広がっています。私たちは、この伝統を次の世代へ確実に継承していく責務を担っているものと考えております。

私たちは今後も「剣道の理念」に則り、剣道の質の向上と普及発展に努めて参ります。さらに「剣道修錬の心構え」「剣道指導の在り方」の浸透を図り、日本の伝統に育まれた剣道を正しく後世へ継承していかなければならないと考えております。

本大会は、前年度優勝者及び各都道府県での予選を勝ち抜いた男子64名・女子64名の剣士による大会となります。選手の皆さんには、これまで積み重ねてきた鍛錬の成果を存分に発揮し、郷土の期待を胸に、気迫あふれる試合を展開されることを期待しております。また、全国の剣道愛好者や海外の剣道関係者、さらには将来、本大会への出場を目指す少年少女剣士たちにとって、良き模範となることを願っております。

剣道関係者の中には、災害･震災により困難な状況にある地域もあります。選手の皆さんには、日頃支えてくださる方々への感謝を胸に、ここ日本武道館から、剣道を通じて日本に活力を届けるような素晴らしい試合を期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり、ご後援を賜りましたスポーツ庁、読売新聞社、毎日新聞社、公益財団法人日本武道館、主管団体として運営にご尽力を賜りました一般財団法人東京都剣道連盟、並びに関係各位に、深甚なる感謝の意を表します。

また、本大会を目指して日々鍛錬を重ねてこられた選手の皆さん、そして選手を支えてこられたご家族、指導者、関係者の皆様に、心より敬意を表します。

本大会が、我が国の剣道のさらなる発展と、次代を担う剣士たちの大きな励みとなりますことを祈念し、挨拶といたします。

祝　辞

文部科学大臣　関　　芳弘



はじめに、令和８年熊本地震及び令和８年８月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県及び千葉県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

第65回全日本女子剣道選手権大会並びに第74回全日本剣道選手権大会が、本日ここに開催されますことを心からお祝い申し上げます。

剣道は、我が国の長い歴史と伝統に培われた世界に誇る武道の一つであり、日々の稽古を通して心身を鍛錬するとともに、相手の人格を尊重し、礼法を重んじる態度の育成を図るなど、豊かな人間形成に寄与するものです。

選手の皆様には、日頃の修練の成果を存分に発揮されますとともに、全国から集う剣士と「交剣知愛」の輪を広げられ、本大会が心に残るすばらしい大会となることを願っております。

文部科学省としましても、スポーツを通じて誰もが心身の健康を育み、スポーツの持つ力や価値が社会全体の活力向上につながるよう、引き続き関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、本大会の開催に御尽力された公益財団法人全日本剣道連盟をはじめ、関係の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と剣道のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

大　会　役　員　（順不同）

令和８年10月１日現在

大会会長	真砂　威				
大会副会長	藤原崇郎	中谷行道	蒔田　実	千葉胤道	
大会特別顧問	関　芳弘	山口寿一	齊藤信宏	高村正彦	井上樹彦
	張　富士夫	網代忠宏			
大会顧問	遠藤利明	橋本聖子	楠　芳伸	筒井洋樹	山田　隆
	藤井　剛	田中義郎	松元良祐	加藤謙介	川端達夫
	久保木　優	西川清紀	玉井知次	上田憲幸	福本修二
	氏家道男	大嶽將文	梯　正治	草間純市	黒郷源慈
	小坂達明	島野泰山	末平佑二	豊村東盛	中田琇士
	二子石貴資	牧瀬憲保	水田重則	三宅一志	宮原昇治
	宮坂昌之	宮坂信之			
大会参与	河合純一	松下　徹	今井宗雄	福田聡太郎	須賀幸峰
	高品圭佑	古見光楓	宮崎隼吏	野村和史	中村有花
	吉川英夫	岡嶋　恒	三上順一	小松　誠	安部美知雄
	小笠原宏志	井上雅勝	武藤士津夫	白石正範	小林一隆
	栗原憲一	岩井啓能	野見山　迓	山本洋一	荻荘　誠
	近藤繁彦	牧本雄一	片山外一	二木むつみ	二橋髙弘
	堤　俊彦	中森博文	中野正堂	伊吹文明	長榮周作
	吉田克法	世耕弘成	池田公律	宮川　健	田中秀和
	堤　慶一	佐伯友茂	高木弘伸	三原悦男	俊野徹人
	渡邊三則	西谷肇一	青柳俊彦	川上春生	灰谷達明
	三浦　悟	山下照喜	橋口光博	小松信明	大城朝徳
	松村建世	塚本素清	中本和洋	下村博文	土﨑祐一郎
	平井邦明	安部壽和	林　達也	岩立三郎	
大会委員長	中谷行道				
大会副委員長	濱﨑　滿	香田郡秀	佐藤厚子	宮林髙夫	
大会委員	上浦かなえ	軽米満世	近藤亮平	篠原政美	谷　勝彦
	内藤常男	古川和男	松田勇人	吉里彰二	伊藤温秀
	秋山知子	安東夏行	大澤規男	太田健一郎	大塚真由美
	小田佳子	親川光俊	川原清美	木浪恒二	小池政一
	小西真里	佐賀　豊	澤入光広	杉岡孝子	相馬建男
	道内由佳里	長尾由香子	原　直史	松本政司	横尾英治
	吉岡成子	吉田泰将	石田利也	奈良　隆	安保洋子
	岡田雅美	長野良昭	大保木輝雄	髙橋　亨	長尾　進
	百鬼史訓	浪岡大介	右田重昭	石井　猛	恩田浩司
	平尾　泰				

競技役員割当表　（順不同）

実行委員長	濱﨑　滿					
実行委員	矢野雅之	高沢　彰	木村年宏	小林晋一	加古　恵	長濱直弥
	斎藤　諒	深見亮太	倉ノ下萌香	伊藤　豊	入江亮太	
（本部兼プロ結果記入）	叶山陽平	吉田佳月				
北口受付係	加古　恵	鈴木淳子	倉ノ下萌香	澤飯功明	鈴木徳之	
	（案　内）	尼岡克紀	馬屋原徹哉	中村美宥	廣次蒼空	
	（警　備）	谷口　豊	近藤賢一			
警備係駐車場	上原征二	近藤喜孝				
西口受付係	（チケット）	遠藤尚人	髙橋　嶺	石井優子	吉住久彌	工藤紀子
		大村　径	牧草浩之			
	（警　備）	乙川和之	大塚恵味			
南西２階受付係	（受　付）	金山あずさ	吉田健人	宮下美穂		
	（警　備）	山田高志	野澤勇太			
警備係中道場	杉本和明					
中道場棟１階入口	倉ノ下萌香					
女子選手控室	関根真子					
会場責任者	（第一試合場）	川名賢充		（第二試合場）	五十嵐清裕	
	（第三試合場）	三浦和人		（第四試合場）	井上哲也	
選手係兼竹刀検査係	（第一試合場）	工藤國夫	田村一芳	佐藤　護	浅井文貴	
	（第二試合場）	小林浩幸	伊藤祐樹	橘田憲和	吉澤裕明	
	（第三試合場）	鈴木啓仁	栗原義光	相浦典江	小島浩人	
	（第四試合場）	岡部英幸	髙野　裕	平田大輔	吉村政之	
掲示・記録係	（第一試合場）	窪田慎二	柳澤陽太	宮田駿介		
	（第二試合場）	鬼頭宏季	深川佳亮	野中亮平		
	（第三試合場）	佐藤こころ	進藤結花	成澤悠舞		
	（第四試合場）	石田建真	宮本佳拓	伊藤匠汰		
時計係	（第一試合場）	今西颯汰	入江陽介	（第二試合場）	飯塚　凛	冨田ひかり
	（第三試合場）	米満成範	山本美和	（第四試合場）	高木慈弥	鳥山煌牙
大掲示係	澤口慎太郎	宇都宮睦実	洲崎七海	阪下健作		
筆耕係	古川茂一	新開晴美				
放送係	佐藤利子	日下部賜枝				
（放送連絡員）	小野果蓮	鈴木瑠夏				
電光掲示係	田口俊太朗	松岡佑希				
NHK連絡員	池田芽生	若尾樺子	本橋憲真	成田竜之介		
ライブ配信・SNS発信	情報小委員会	野澤　豪	和栗諒人			
写真係	新美俊太郎	五十嵐一真	和栗淑子	谷　早苗		
防火監視員	高森　毅	鈴木徳之				
ドーピング検査	関根真子					
プログラム販売係	吉兼利光	川上京平	岩本晃弥			
書籍販売係	土屋美希	木塚洸太	三上　楓			
接待係	松井由枝	大津留愛麻	新納里彩	元木千都		
救護係	荻原幸彦	冨安梨恵				
警備係	（１階・地下）	遠藤尚人	髙橋　嶺	仲村祐哉	濵田大空	井口義章
		後藤理恵				
	（階　段）	本橋翔子	長谷川晴香	荒川洋子	浅野泰生	田代明子
		田代幸長	中村守緒	多田健治	西　慶悟	八木橋歩
	（エレベーター）	萬代佳裕		（東　口）	鈴木康平	北　宏志
	（アリーナ中道場）	戸村卓見	大隈雄輝			
北の丸事務所	遠藤尚人	高森　毅				

NHK総合テレビ解説　（男子）剣道教士　平尾　泰　　（女子）剣道教士　竹中健太郎

審　判　員

審判長

剣道範士　牧瀬憲保



審判主任

剣道範士　西川清紀



剣道範士　大城戸功



剣道範士　東　良美



剣道範士　松田勇人



剣道範士　船津晋治



剣道範士　清水新二



剣道範士　栗田和市郎



剣道範士　山﨑　尚



剣道範士　山中洋介



剣道範士　松本政司



剣道範士　井島　章



剣道範士　石川　薫



剣道範士　石井　猛



剣道範士　浦　和人



剣道範士　大澤規男



剣道範士　神﨑　浩



剣道範士　井上　孝



剣道範士　本名和彦



剣道範士　佐賀　豊



剣道範士　清野　忍



第 74 回　全日本剣道選手権大会　審判員割当表

審 判 長・牧 瀬 憲 保（福　岡）

第１試合場

主　任・西 川 清 紀（東　京）

1組
- ①松 田 勇 人（奈　良）
- ②山 中 洋 介（鳥　取）
- ③大 澤 規 男（埼　玉）

2組
- ①船 津 晋 治（大　阪）
- ②井 島　 章（千　葉）
- ③井 上　 孝（香　川）

3組
- ①東　 良 美（愛　知）
- ②石 井　 猛（東　京）
- ③佐 賀　 豊（北海道）

第２試合場

主　任・大城戸　功（愛　媛）

1組
- ①栗田和市郎（東　京）
- ②松 本 政 司（香　川）
- ③神 﨑　 浩（大　阪）

2組
- ①清 水 新 二（熊　本）
- ②石 川　 薫（京　都）
- ③本 名 和 彦（茨　城）

3組
- ①山 﨑　 尚（愛　知）
- ②浦　 和 人（兵　庫）
- ③清 野　 忍（山　梨）

［備考］ 1．1回戦から3回戦までは、2試合場で実施。4回戦より1試合場で実施。
2．（　）内は、登録の都道府県剣道連盟。

審　判　員

審判長

牧瀬憲保
剣道範士



審判主任

佐藤桂生
剣道範士



下島貴代一
剣道範士



剣道教士　山本由香



剣道教士　味上真紀



剣道教士　栗田幸枝



剣道教士　谷　ひとみ



剣道教士　中嶋佳代子



剣道教士　永原聡子



剣道教士　五十嵐しのぶ



剣道教士　森島直子



剣道教士　石田真理子



剣道教士　伊東たみ代



剣道教士　阿部都貴子



剣道教士　芦田　環



剣道教士　藤井あ子



剣道教士　大﨑真弥



剣道教士　森　香織



剣道教士　福田美佐子



剣道教士　緒方有希



剣道教士　新原のぞみ



※都道府県順

第 65 回　全日本女子剣道選手権大会　審判員割当表

審 判 長・牧 瀬 憲 保（福　岡）

第３試合場

主　任・佐 藤 桂 生（兵　庫）

1組
- ①栗 田 幸 枝（埼　玉）
- ②森 島 直 子（愛　知）
- ③緒 方 有 希（熊　本）

2組
- ①石田真理子（大　阪）
- ②中嶋佳代子（東　京）
- ③森　香 織（福　岡）

3組
- ①伊東たみ代（奈　良）
- ②藤 井 あ 子（山　口）
- ③山 本 由 香（北海道）

第４試合場

主　任・下島貴代一（岐　阜）

1組
- ①味 上 真 紀（宮　城）
- ②永 原 聡 子（千　葉）
- ③福田美佐子（長　崎）

2組
- ①谷　ひとみ（東　京）
- ②芦 田　環（岡　山）
- ③新原のぞみ（鹿児島）

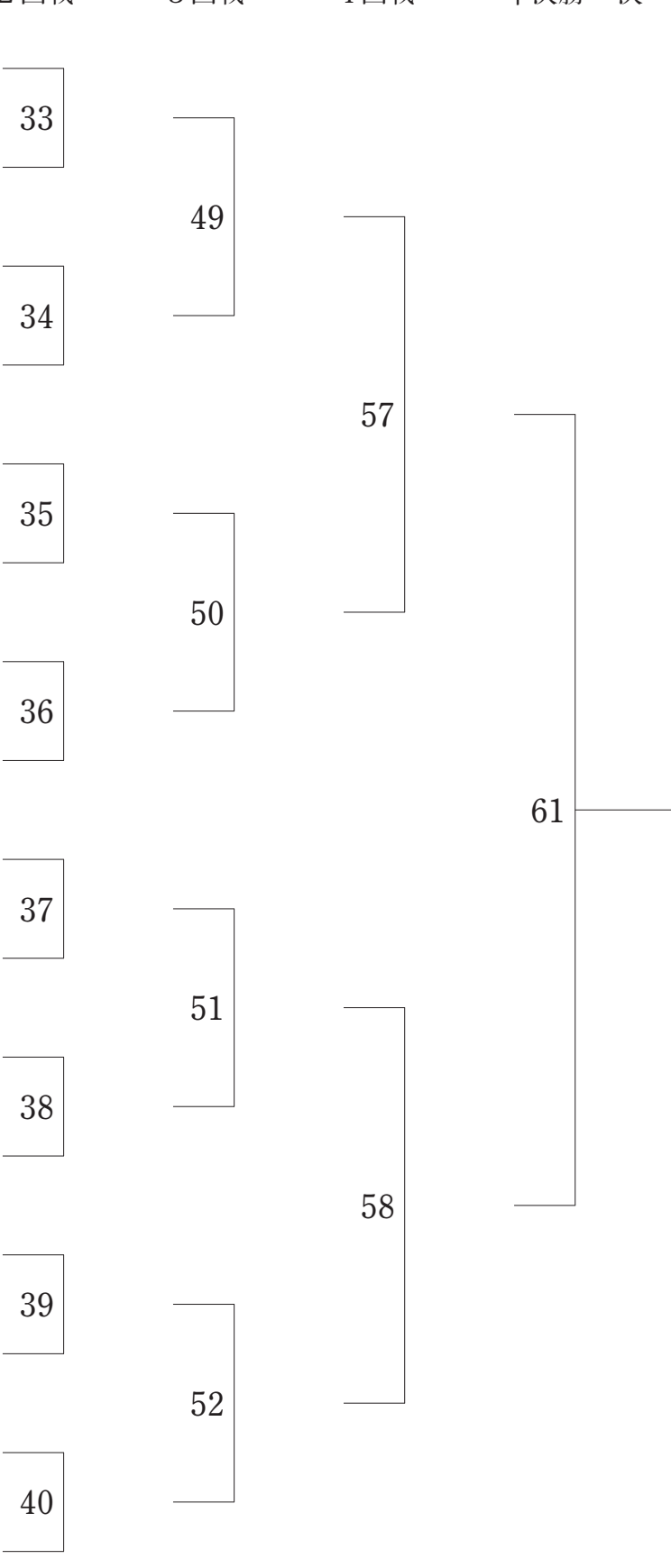
3組
- ①阿部都貴子（兵　庫）
- ②大 﨑 真 弥（高　知）
- ③五十嵐しのぶ（新　潟）

［備考］ 1．1回戦から3回戦までは、2試合場で実施。4回戦より1試合場で実施。
2．（　）内は、登録の都道府県剣道連盟。

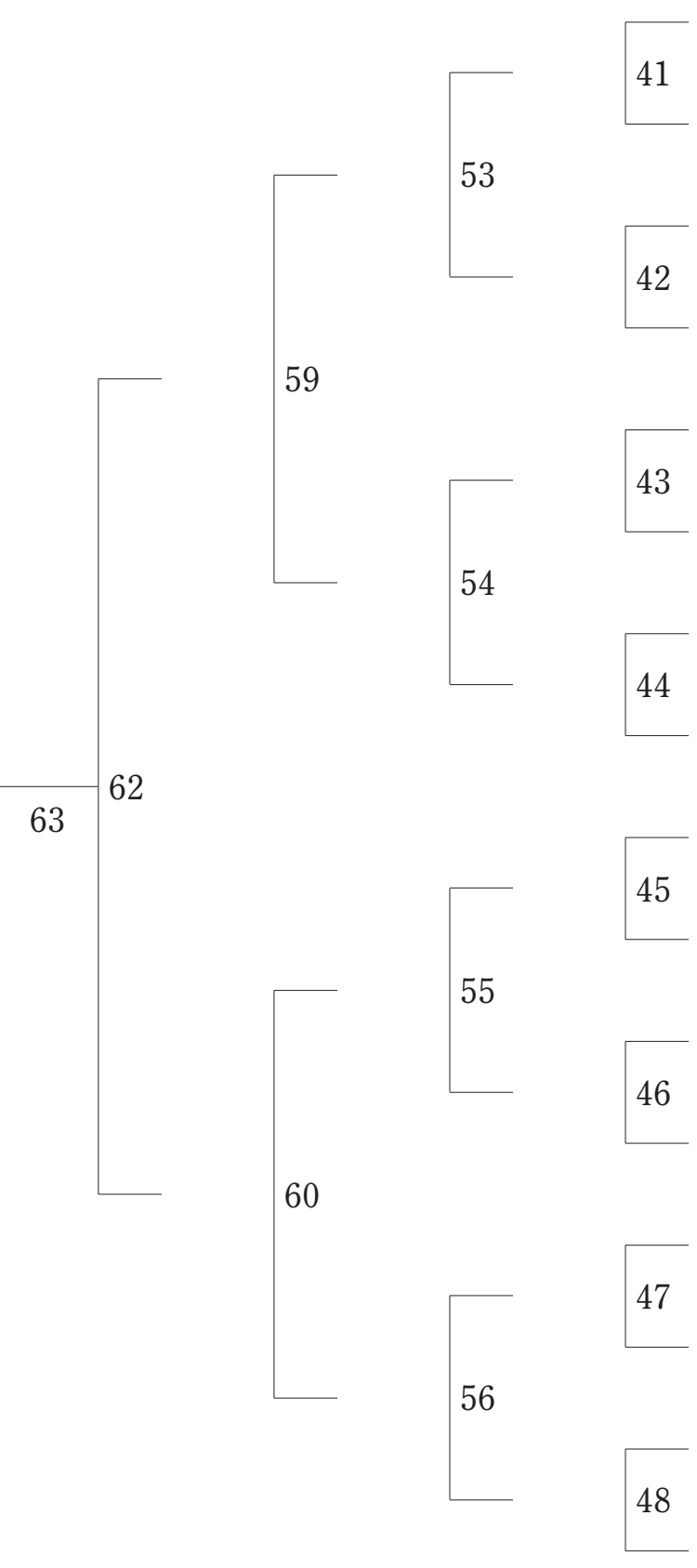
第74回全日本剣道

第1試合場

	段位	出場回数	氏名	選出県	1回戦
1	五段	③	小倉　進志	(和歌山)	1
2	五段	⑦	星子　啓太	(東　京)	
3	六段	④	伊澤　周都	(北海道)	2
4	錬六	⑧	中澤　公貴	(高　知)	
5	錬六	⑦	合屋　　龍	(京　都)	3
6	錬六	③	坂本　秀樹	(島　根)	
7	五段	③	堤　　光誠	(大　分)	4
8	錬六	②	宮崎　克海	(神奈川)	
9	五段	㊥	上浦　智史	(岡　山)	5
10	六段	③	染谷　恒貴	(千　葉)	
11	五段	⑤	西澤　慎也	(長　野)	6
12	五段	②	安藤　千真	(愛　知)	
13	五段	②	鈴木　賢起	(兵　庫)	7
14	五段	②	池田龍ノ介	(福　岡)	
15	四段	㊥	留場　啓伍	(福　島)	8
16	五段	②	岩切　勇磨	(東　京)	
17	四段	②	竹本　航洋	(滋　賀)	9
18	三段	㊥	木村　理吟	(群　馬)	
19	錬六	⑤	村上　哲彦	(愛　媛)	10
20	五段	㊥	井上　　翼	(沖　縄)	
21	四段	㊥	中田竜之介	(東　京)	11
22	三段	㊥	弓　　翔太	(佐　賀)	
23	四段	②	加藤　竜成	(鳥　取)	12
24	五段	㊥	小野　賢也	(秋　田)	
25	三段	㊥	後藤　　迅	(岐　阜)	13
26	六段	②	金子　亮介	(山　梨)	
27	五段	③	山本　清吾	(大　阪)	14
28	五段	②	槌田　祐勢	(熊　本)	
29	五段	㊥	佐々木直也	(岩　手)	15
30	五段	⑧	松﨑賢士郎	(茨　城)	
31	四段	③	伊藤　勇太	(埼　玉)	16
32	五段	㊥	山﨑　由樹	(福　井)	



選手権大会組合せ



第２試合場

1回戦		段位	出場回数	氏名	選出県
17	33	六段	⑦	千田　海	（宮　城）
	34	五段	㊗	髙見　将吾	（石　川）
18	35	錬六	⑨	林田　匡平	（長　崎）
	36	六段	⑥	真田　裕行	（神奈川）
19	37	五段	③	杉田龍太郎	（大　阪）
	38	六段	④	矢野　貴之	（東　京）
20	39	五段	㊗	宮﨑　大輝	（愛　知）
	40	錬六	㊗	冨永　純平	（山　口）
21	41	四段	②	金崎　楓馬	（富　山）
	42	三段	②	田畑　政樹	（埼　玉）
22	43	五段	②	松岡　佳輝	（三　重）
	44	五段	㊗	蒔苗　駿介	（千　葉）
23	45	五段	④	池田虎ノ介	（福　岡）
	46	六段	②	内堀聡一郎	（香　川）
24	47	四段	㊗	川上　晏平	（兵　庫）
	48	錬六	③	髙田　達	（青　森）
25	49	六段	③	市川　巧	（栃　木）
	50	錬六	②	望月　一世	（静　岡）
26	51	四段	㊗	堀部　潤哉	（山　形）
	52	五段	㊗	荒武　将汰	（宮　崎）
27	53	四段	㊗	大濵　優輝	（新　潟）
	54	五段	⑤	大平　翔士	（東　京）
28	55	五段	②	山内　駿	（奈　良）
	56	六段	㊗	國師　翔太	（鹿児島）
29	57	錬六	③	山本　義征	（徳　島）
	58	錬六	㊗	阿部　莞太	（茨　城）
30	59	六段	㊗	金子　周平	（北海道）
	60	錬六	⑩	國友錬太朗	（福　岡）
31	61	四段	④	棗田　龍介	（広　島）
	62	四段	③	鈴木　龍哉	（千　葉）
32	63	錬六	④	土谷　有輝	（大　阪）
	64	四段	㊗	但馬圭太郎	（埼　玉）

1



和歌山県代表

小倉進志（おぐらしんじ）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（和歌山県警察）
3. 立命館大卒
4. 和歌山県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体2部優勝・個人出場
●国スポ出場

2



東京都代表

星子啓太（ほしこけいた）

（28歳）

1. 五段
2. 警察官
（警視庁）
3. 筑波大卒
4. 鹿児島県出身
5. ●選手権大会7回目出場第69回・73回大会優勝3位2回
●世界大会団体優勝2回・個人優勝
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●警察大会団体優勝2回・個人優勝3回

3



北海道代表

伊澤周都（いざわしゅうと）

（31歳）

1. 六段
2. 警察官
（北海道警察）
3. 国士舘大卒
4. 北海道出身
5. ●選手権大会4回目出場
●都道府県大会出場4回
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場4回

4



高知県代表

中澤公貴（なかざわきみたか）

（36歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（高知県警察）
3. 国士舘大卒
4. 高知県出身
5. ●選手権大会8回目出場
●東西対抗大会出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体3部優勝・個人出場
●国スポ出場

5



京都府代表

合屋　龍（ごうやりょう）

（34歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（京都府警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会7回目出場2位
●東西対抗大会出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体2部優勝・個人3位
●国スポ3位

6



島根県代表

坂本秀樹（さかもとひでき）

（36歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（島根県警察）
3. 日本体育大卒
4. 島根県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会出場7回
●警察大会団体2部優勝・個人出場
●国スポ3位1回出場4回

7



大分県代表

堤　光誠（つつみこうせい）

（25歳）

1. 五段
2. 警察官
（大分県警察）
3. 筑波大卒
4. 大分県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会出場
●学生大会団体3位・個人出場
●国スポ出場

8



神奈川県代表

宮崎克海（みやざきかつうみ）

（36歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（神奈川県警察）
3. 東海大相模高卒
4. 神奈川県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体優勝2位3回3位3回
●国スポ出場2回

9



岡山県代表

上浦智史（かみうらさとし）

（30歳）

1. 五段
2. 警察官
（岡山県警察）
3. 法政大卒
4. 岡山県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場

10



千葉県代表

染谷恒貴（そめやひさたか）

（29歳）

1. 六段
2. 警察官
（千葉県警察）
3. 国士舘大卒
4. 千葉県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会2位3位
●警察大会団体出場・個人3位
●国スポ出場

11



長野県代表

西澤慎也（にしざわしんや）

（30歳）

1. 五段
2. 警察官
（長野県警察）
3. 長野商業高卒
4. 長野県出身
5. ●選手権大会5回目出場
●都道府県大会出場
●国スポ出場

12



愛知県代表

安藤千真（あんどうかずま）

（25歳）

1. 五段
2. 会社員
（大同特殊鋼株式会社）
3. 立命館大卒
4. 愛知県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●学生大会団体出場3回
●高校大会団体出場
●国スポ出場2回

13



兵庫県代表

鈴木賢起（すずきけんき）

（27歳）

1. 五段
2. 会社員
（グローリー株式会社）
3. 鹿屋体育大卒
4. 兵庫県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場

14



福岡県代表

池田龍ノ介（いけだりゅうのすけ）

（25歳）

1. 五段
2. 警察官
（福岡県警察）
3. 中央大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●学生大会団体優勝3位各1回出場3回・個人出場3回
●高校選抜大会出場
●高校大会個人優勝
●国スポ2位

15



福島県代表

留場啓伍（とめばけいご）

（22歳）

1. 四段
2. 学生
（国士舘大4年）
3.
4. 福島県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●学生大会団体優勝2回・個人出場
●国スポ出場

16



東京都代表

岩切勇磨（いわきりゆうま）

（27歳）

1. 五段
2. 警察官
（警視庁）
3. 国際武道大卒
4. 千葉県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●警察大会団体優勝

17



滋賀県代表

竹本航洋（たけもとこうよう）

（25歳）

1. 四段
2. 会社員
（東レ株式会社）
3. 立命館大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会3位
●国スポ優勝

18



群馬県代表

木村理吟（きむらりおと）

（23歳）

1. 三段
2. 会社員
（株式会社RFテクニカ）
3. 日本体育大卒
4. 群馬県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●学生大会団体3位

19



愛媛県代表

村上哲彦（むらかみてつひこ）

（34歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（愛媛県警察）
3. 松山大卒
4. 愛媛県出身
5. ●選手権大会5回目出場第70回大会優勝3位1回
●都道府県大会出場
●国スポ優勝1回出場3回

20



沖縄県代表

井上　翼（いのうえつばさ）

（25歳）

1. 五段
2. 警察官
（沖縄県警察）
3. 小禄高卒
4. 沖縄県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体3部優勝1回
●国スポ出場3回

21



東京都代表

中田竜之介（なかだりゅうのすけ）

（23歳）

1. 四段
2. 警察官
（警視庁）
3. 国士舘大卒
4. 千葉県出身
5. ●選手権大会初出場
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●都道府県大会3位
●学生大会団体優勝2回・個人3位

22



佐賀県代表

弓　翔太（ゆみしょうた）

（20歳）

1. 三段
2. 学生
（明治大2年）
3.
4. 佐賀県出身
5. ●選手権大会初出場
●高校選抜大会2位1回出場2回
●国スポ優勝

23



鳥取県代表

加藤竜成（かとうりゅうせい）

（26歳）

1. 四段
2. 会社員
（パナソニックハウジングソリューションズ株式会社）
3. 広島大卒
4. 鳥取県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場
●学生大会団体・個人出場
●高校大会個人2位
●国スポ出場

24



秋田県代表

小野賢也（おのけんや）

（30歳）

1. 五段
2. 警察官
（秋田県警察）
3. 秋田商業高卒
4. 秋田県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場

25



岐阜県代表

後藤　迅（ごとうじん）

（21歳）

1. 三段
2. 学生
（中部学院大3年）
3.
4. 岐阜県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●学生大会団体出場2回
●高校大会団体2位
●国スポ出場

26



山梨県代表

金子亮介（かねこりょうすけ）

（35歳）

1. 六段
2. 刑務官
（甲府刑務所）
3. 中京大卒
4. 石川県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場
●国スポ出場

27



大阪府代表

山本清吾（やまもとしょうご）

（24歳）

1. 五段
2. 警察官
（大阪府警察）
3. 日本体育大卒
4. 奈良県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●警察大会団体優勝

28



熊本県代表

槌田祐勢（つちだゆうせい）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（熊本県警察）
3. 明治大卒
4. 熊本県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場2回
●警察大会団体出場5回・個人出場4回

29



岩手県代表

佐々木直也（ささきなおや）

（33歳）

1. 五段
2. 警察官
（岩手県警察）
3. 流通経済大卒
4. 岩手県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場

30



茨城県代表

松﨑賢士郎（まつざきけんしろう）

（28歳）

1. 五段
2. 教員
（筑波大）
3. 筑波大大学院卒
4. 長崎県出身
5. ●選手権大会8回目出場第68回大会優勝2位2回3位1回
●世界大会団体優勝・個人2位
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●都道府県大会優勝1回2位2回3位1回
●教職員大会個人優勝2回
●国スポ優勝4回

31



埼玉県代表

伊藤勇太（いとうゆうた）

（27歳）

1. 四段
2. 警察官
（埼玉県警察）
3. 法政大卒
4. 埼玉県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体出場
●国スポ出場

32



福井県代表

山﨑由樹（やまざきゆうき）

（34歳）

1. 五段
2. 警察官
（福井県警察）
3. 中京大卒
4. 福井県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体・個人出場

33



宮城県代表

千田　海（せんだ　かい）

（30歳）

1. 六段
2. 警察官
（宮城県警察）
3. 明治大卒
4. 宮城県出身
5. ●選手権大会7回目出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体・個人出場
●学生大会団体・個人出場
●国スポ出場

34



石川県代表

髙見将吾（たかみしょうご）

（28歳）

1. 五段
2. 警察官
（石川県警察）
3. 金沢市立工業高卒
4. 石川県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体3部2位・個人出場
●国スポ出場

35



長崎県代表

林田匡平（はやしだきょうへい）

（32歳）

1. 錬士六段
2. 教員
（長崎県立島原高）
3. 筑波大卒
4. 長崎県出身
5. ●選手権大会9回目出場2位1回3位3回
●教職員大会個人優勝3回
●学生大会団体・個人優勝
●国スポ3位1回

36



神奈川県代表

真田裕行（さなだひろゆき）

（31歳）

1. 六段
2. 警察官
（神奈川県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 鳥取県出身
5. ●選手権大会6回目出場
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●東西対抗大会出場
●警察大会団体優勝・個人3位2回

37



大阪府代表

杉田龍太郎（すぎたりゅうたろう）

（27歳）

1. 五段
2. 警察官
（大阪府警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 岐阜県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●警察大会団体優勝

38



東京都代表

矢野貴之（やのたかゆき）

（30歳）

1. 六段
2. 警察官
（警視庁）
3. 国士舘大卒
4. 東京都出身
5. ●選手権大会4回目出場3位
●警察大会団体優勝2回・個人3位

39



愛知県代表

宮﨑大輝（みやざきだいき）

（27歳）

1. 五段
2. 警察官
（愛知県警察）
3. 朝日大卒
4. 愛媛県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体2部2位・個人出場

40



山口県代表

冨永純平（とみながじゅんぺい）

（34歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（山口県警察）
3. 志學館大卒
4. 長崎県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場

41



富山県代表

金崎楓馬（かなさきふうま）

（24歳）

1. 四段
2. 警察官
（富山県警察）
3. 龍谷富山高卒
4. 富山県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場1回
●警察大会団体出場3回・個人出場2回
●高校選抜大会出場2回
●高校大会団体・個人出場2回
●国スポ出場3回

42



埼玉県代表

田畑政樹（たばたまさき）

（23歳）

1. 三段
2. 警察官
（埼玉県警察）
3. 法政大卒
4. 新潟県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場
●学生大会団体3位
●国スポ出場

43



三重県代表

松岡佳輝（まつおかよしき）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（三重県警察）
3. 中京大卒
4. 三重県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●警察大会団体・個人出場
●学生大会団体・個人出場

44



千葉県代表

蒔苗駿介（まかなえしゅんすけ）

（26歳）

1. 五段
2. 警察官
（千葉県警察）
3. 国際武道大卒
4. 埼玉県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体出場
●学生大会団体3位・個人出場

45



福岡県代表

池田虎ノ介（いけだとらのすけ）

（25歳）

1. 五段
2. 警察官
（福岡県警察）
3. 筑波大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会4回目出場3位1回
●都道府県大会2位3位各1回
●警察大会個人3位
●学生大会団体優勝3位各1回
●国スポ2位3位各1回

46



香川県代表

内堀聡一郎（うちほりそういちろう）

（29歳）

1. 六段
2. 警察官
（香川県警察）
3. 香川県立高松商業高卒
4. 香川県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場3回
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場1回

47



兵庫県代表

川上晏平（かわかみあんぺい）

（24歳）

1. 四段
2. 警察官
（兵庫県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体出場
●学生大会団体2位・個人出場2回
●国スポ出場

48



青森県代表

髙田　達（たかだいたる）

（34歳）

1. 錬士六段
2. 刑務官
（青森刑務所）
3. 青森大卒
4. 北海道出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会出場2回
●矯正大会団体出場3回・個人2位1回出場2回
●国スポ出場3回

49



栃木県代表

市川　巧（いちかわ　たくみ）

（33歳）

1. 六段
2. 警察官
（栃木県警察）
3. 明治大卒
4. 栃木県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●国スポ優勝1回

50



静岡県代表

望月一世（もちづき　いっせい）

（34歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（静岡県警察）
3. 東海大卒
4. 静岡県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場3回
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場3回

51



山形県代表

堀部潤哉（ほりべ　じゅんや）

（25歳）

1. 四段
2. 警察官
（山形県警察）
3. 山形県立酒田光陵高卒
4. 山形県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体出場4回・個人出場2回
●高校選抜大会出場1回
●高校大会団体・個人出場各1回

52



宮崎県代表

荒武将汰（あらたけしょうた）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（宮崎県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 宮崎県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体3位・個人出場
●国スポ出場

53



新潟県代表

大濵優輝（おおはまゆうき）

（26歳）

1. 四段
2. 警察官
（新潟県警察）
3. 日本大卒
4. 新潟県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体3部2位

54



東京都代表

大平翔士（おおひらしょうし）

（25歳）

1. 五段
2. 警察官
（警視庁）
3. 筑波大卒
4. 東京都出身
5. ●選手権大会5回目出場
●世界大会団体優勝・個人3位
●アジア・オセアニア大会個人優勝
●警察大会団体優勝・個人3位

55



奈良県代表

山内　駿（やまうち　しゅん）

（32歳）

1. 五段
2. 警察官
（奈良県警察）
3. 関西大卒
4. 奈良県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県大会出場3回
●警察大会団体出場6回・個人出場4回
●国スポ出場2回

56



鹿児島県代表

國師翔太（こくしょうた）

（33歳）

1. 六段
2. 警察官
（鹿児島県警察）
3. 樟南高卒
4. 鹿児島県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体2部2位3部優勝・個人出場
●国スポ2位

57



徳島県代表

山本義征（やまもとよしゆき）

（37歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（徳島県警察）
3. 大阪体育大卒
4. 徳島県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会出場
●警察大会団体3部3位・個人出場
●国スポ出場

58



茨城県代表

阿部莞太（あべかんた）

（32歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（茨城県警察）
3. 明治大卒
4. 茨城県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県大会優勝1回
●警察大会団体1部2位1回・個人出場
●国スポ出場2回

59



北海道代表

金子周平（かねこしゅうへい）

（33歳）

1. 六段
2. 警察官
（北海道警察）
3. 専修大卒
4. 北海道出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体1部2位

60



福岡県代表

國友錬太朗（くにともれんたろう）

（36歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（福岡県警察）
3. 国士舘大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会10回目出場第67回大会優勝2位3回
●東西対抗大会出場
●都道府県大会3位
●国スポ3位

61



広島県代表

棗田龍介（なつめだりゅうすけ）

（26歳）

1. 四段
2. 警察官
（広島県警察）
3. 日本体育大卒
4. 広島県出身
5. ●選手権大会4回目出場第71回大会優勝3位
●都道府県大会3位
●警察大会団体3部・2部優勝

62



千葉県代表

鈴木龍哉（すずきりゅうや）

（24歳）

1. 四段
2. 警察官
（千葉県警察）
3. 法政大卒
4. 千葉県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県大会出場2回
●警察大会団体出場
●国スポ優勝1回出場3回

63



大阪府代表

土谷有輝（つちたにゆうき）

（34歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（大阪府警察）
3. 国士舘大卒
4. 石川県出身
5. ●選手権大会4回目出場
●東西対抗大会出場
●都道府県大会3位
●警察大会団体優勝5回・個人優勝2回
●国スポ2位

64



埼玉県代表

但馬圭太郎（たじまけいたろう）

（27歳）

1. 四段
2. 警察官
（埼玉県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 群馬県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体出場

第65回全日本女子剣

第３試合場

	段位	出場回数	氏名	選出県	１回戦
1	四段	③	岩原　千佳	（徳　島）	1
2	五段	④	松本　泉帆	（兵　庫）	
3	三段	②	菊池　京花	（鹿児島）	2
4	五段	③	境　桃花	（千　葉）	
5	錬六	⑧	光石　眞紀	（山　梨）	3
6	三段	②	平山まりん	（愛　知）	
7	四段	④	北澤　毬乃	（長　野）	4
8	五段	⑨	外山みのり	（東　京）	
9	三段	②	加藤日向子	（鳥　取）	5
10	三段	初	西澤　歩希	（静　岡）	
11	錬六	⑩	高橋　萌子	（神奈川）	6
12	五段	初	遠藤　那里	（宮　城）	
13	三段	初	佐藤　愛海	（新　潟）	7
14	六段	⑩	志藤　綾子	（埼　玉）	
15	三段	初	鹿毛　心鈴	（大　分）	8
16	五段	⑤	藤﨑　薫子	（大　阪）	
17	五段	②	川村優貴乃	（山　形）	9
18	五段	②	外山　菜緒	（岐　阜）	
19	三段	③	中村　桜子	（茨　城）	10
20	六段	⑧	森山　加世	（島　根）	
21	二段	②	大駒　素華	（群　馬）	11
22	五段	⑦	妹尾　舞香	（福　岡）	
23	錬七	⑮	末永　真理	（和歌山）	12
24	三段	③	横山　雅	（石　川）	
25	三段	初	米村　咲歩	（長　崎）	13
26	三段	初	橋本　心瑛	（香　川）	
27	錬六	④	和田　美咲	（滋　賀）	14
28	三段	初	武田　詞葉	（岡　山）	
29	六段	⑤	松本　智香	（神奈川）	15
30	三段	初	濱﨑　理子	（三　重）	
31	三段	初	山田那々良	（青　森）	16
32	五段	初	山北　愛子	（東　京）	

２回戦　３回戦　４回戦　準決勝　決

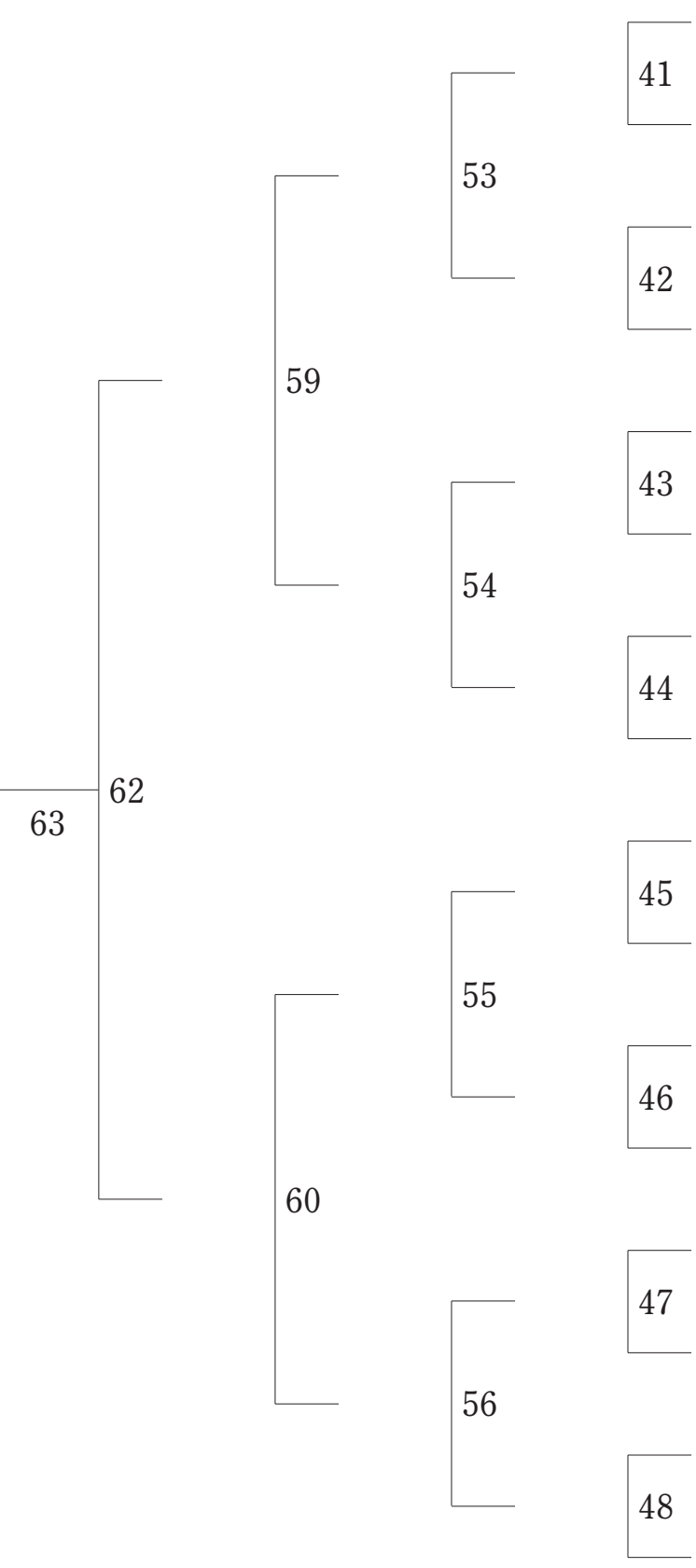
33　34　35　36　37　38　39　40

49　50　51　52

57　58

61

道選手権大会組合せ



第4試合場

1回戦		段位	出場回数	氏名	選出県
17	33	五段	③	諸岡　温子	(神奈川)
	34	錬六	⑧	尾﨑　麻美	(京　都)
18	35	三段	③	五十嵐和奏	(福　島)
	36	五段	②	キーファー和	(沖　縄)
19	37	四段	初	湯川　愛梨	(愛　知)
	38	四段	②	福原　波奈	(富　山)
20	39	四段	④	柿元　冴月	(福　岡)
	40	四段	⑤	笠　日向子	(東　京)
21	41	四段	初	鈴木　瞳美	(千　葉)
	42	四段	②	佐竹　　蘭	(高　知)
22	43	五段	④	横山　万優	(大　阪)
	44	錬六	初	西尾明日菜	(熊　本)
23	45	五段	⑤	名越　友美	(広　島)
	46	五段	⑨	小川梨々香	(埼　玉)
24	47	五段	初	髙橋　佑実	(岩　手)
	48	三段	初	小山　結衣	(福　井)
25	49	四段	⑤	大嶋友莉亜	(大　阪)
	50	三段	初	高橋　秋羽	(秋　田)
26	51	二段	初	中村　美月	(茨　城)
	52	三段	初	姉川恵里香	(愛　知)
27	53	三段	②	中司　美羽	(愛　媛)
	54	四段	初	勝見　理沙	(奈　良)
28	55	教七	㉖	村山　千夏	(埼　玉)
	56	四段	初	安藤　美桜	(宮　崎)
29	57	四段	⑥	川合　芳奈	(静　岡)
	58	三段	初	大河原彩香	(栃　木)
30	59	五段	初	村井　滉菜	(東　京)
	60	四段	④	関川　絢心	(北海道)
31	61	五段	⑤	鬼塚　彩乃	(千　葉)
	62	三段	②	橋本　陽菜	(山　口)
32	63	四段	④	小川　真英	(兵　庫)
	64	五段	初	上野　留実	(佐　賀)

1



徳島県代表

岩原千佳（いわはら ちか）

（22歳）

1. 四段
2. 学生
（筑波大4年）
3.
4. 徳島県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県女子大会2位
●女子学生大会団体2位

2



兵庫県代表

松本泉帆（まつもと みずほ）

（28歳）

1. 五段
2. 警察官
（兵庫県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 和歌山県出身
5. ●選手権大会4回目出場
●東西対抗大会出場
●都道府県女子大会3位
●警察大会個人優勝
●女子学生大会団体優勝2位3位
●高校大会個人3位
●中学校大会団体3位2回
●国スポ2位

3



鹿児島県代表

菊池京花（きくち きょうか）

（20歳）

1. 三段
2. 学生
（鹿屋体育大2年）
3.
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会出場
●女子学生大会団体2位・個人出場
●高校選抜大会出場
●中学校大会団体3位・個人出場
●国スポ優勝

4



千葉県代表

境　桃花（さかい ももか）

（28歳）

1. 五段
2. 警察官
（千葉県警察）
3. 国際武道大卒
4. 熊本県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県女子大会優勝
●警察大会団体・個人出場
●女子学生大会団体3位
●国スポ出場

5



山梨県代表

光石眞紀（みついし まき）

（旧姓　有賀）

（32歳）

1. 錬士六段
2. 教員
（山梨県立青洲高）
3. 明治大卒
4. 山梨県出身
5. ●選手権大会8回目出場
●都道府県女子大会出場
●国スポ出場

6



愛知県代表

平山まりん（ひらやま）

（25歳）

1. 三段
2. 会社員
（トヨタ自動車株式会社）
3. 樟南高卒
4. 愛知県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●高校選抜大会3位出場2回

7



長野県代表

北澤毬乃（きたざわ まりの）

（22歳）

1. 四段
2. 学生
（筑波大4年）
3.
4. 長野県出身
5. ●選手権大会4回目出場
●女子学生大会個人3位
●高校選抜大会優勝
●高校大会団体優勝

8



東京都代表

外山みのり（とやま）

（旧姓　佐藤）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（警視庁）
3. 法政大卒
4. 福島県出身
5. ●選手権大会9回目出場2位
●世界大会個人3位
●アジア・オセアニア大会個人2位
●警察大会団体優勝・個人3位

9



鳥取県代表

加藤日向子（かとう ひなこ）

（20歳）

1. 三段
2. 学生
（環太平洋大2年）
3.
4. 鳥取県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●高校選抜大会出場
●高校大会団体・個人出場

10



静岡県代表

西澤歩希（にしざわ ほまれ）

（21歳）

1. 三段
2. 学生
（立命館大3年）
3.
4. 静岡県出身
5. ●選手権大会初出場
●高校選抜大会出場2回
●高等学校大会団体・個人出場
●中学校大会団体出場

11



神奈川県代表

高橋萌子（たかはし もえこ）

（33歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（神奈川県警察）
3. 法政大卒
4. 新潟県出身
5. ●選手権大会10回目出場第56・57・64回大会優勝
●世界大会団体優勝4回
●警察大会個人優勝2位各2回
●女子学生大会団体・個人優勝
●高校大会団体・個人優勝
●中学校大会団体・個人優勝

12



宮城県代表

遠藤那里（えんどう なり）

（27歳）

1. 五段
2. 警察官
（宮城県警察）
3. 宮城県柴田高卒
4. 宮城県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場
●警察大会団体出場4回・個人出場3回
●高校大会団体出場2回・個人出場1回

13



新潟県代表

佐藤愛海（さとう あいみ）

（19歳）

1. 三段
2. 学生
（日本体育大1年）
3.
4. 新潟県出身
5. ●選手権大会初出場
●高校選抜大会出場
●中学校大会個人優勝3位

14



埼玉県代表

志藤綾子（しとう あやこ）

（34歳）

1. 六段
2. 会社員
（伊田テクノス株式会社）
3. 大東文化大卒
4. 山形県出身
5. ●選手権大会10回目出場2位
●東西対抗大会出場
●都道府県女子大会優勝2回2位1回
●実業団女子大会優勝3回
●国スポ3位

15



大分県代表

鹿毛心鈴（かげ みすず）

（18歳）

1. 三段
2. 高校生
（柳ヶ浦高3年）
3.
4. 山口県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場
●高校選抜大会出場
●高校大会個人出場2回

16



大阪府代表

藤﨑薫子（ふじさきかおるこ）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（大阪府警察）
3. 明治大卒
4. 熊本県出身
5. ●選手権大会5回目出場
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●東西対抗大会出場
●警察大会団体優勝2位2回
●女子学生大会団体優勝2位2回・個人優勝3位
●国スポ2位

17



山形県代表

川村優貴乃（かわむらゆきの）

（26歳）

1. 五段
2. 警察官
（山形県警察）
3. 国士舘大卒
4. 山形県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会出場3回
●警察大会個人出場3回
●女子学生大会団体出場2回
●国スポ出場2回

18



岐阜県代表

外山菜緒（とやまなお）

（27歳）

1. 五段
2. 警察官
（岐阜県警察）
3. 筑波大卒
4. 岐阜県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会3位
●国スポ出場

19



茨城県代表

中村桜子（なかむらさくらこ）

（21歳）

1. 三段
2. 学生
（立教大3年）
3.
4. 茨城県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県女子大会出場
●高校選抜大会優勝
●高校大会団体優勝

20



島根県代表

森山加世（もりやまかよ）

（34歳）

1. 六段
2. 教員
（島根県立緑ヶ丘養護学校）
3. 日本体育大卒
4. 島根県出身
5. ●選手権大会8回目出場
●都道府県女子大会出場
●警察大会個人3位
●教職員大会2位

21



群馬県代表

大駒素華（おおこまもとか）

（21歳）

1. 二段
2. 学生
（明治大3年）
3.
4. 群馬県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会出場
●女子学生大会団体出場
●高校選抜大会出場2回
●高校大会団体3位1回出場3回・個人出場3回
●中学校大会団体出場
●国スポ出場

22



福岡県代表

妹尾舞香（せのおまいか）

（26歳）

1. 五段
2. 警察官
（福岡県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会7回目出場第60回大会優勝2位2回3位2回
●世界大会団体優勝・個人3位2回
●ｱｼｱ・ｵｾｱﾆｱ大会団体優勝
●警察大会団体優勝2回3位1回・個人3位1回
●女子学生大会団体優勝3位各1回・個人2位3位各1回
●高校選抜大会優勝2回
●高校大会団体優勝3回・個人優勝2回

23



和歌山県代表

末永真理（すえながまり）

（旧姓　山本真理子）

（38歳）

1. 錬士七段
2. 団体職員
（一般社団法人み･ゆーじ）
3. PL学園高卒
4. 大阪府出身
5. ●選手権大会15回目出場第51・52・61回大会優勝2位3位4回
●世界大会団体優勝4回・個人2位2回
●警察大会団体優勝2位・個人優勝5回2位3位

24



石川県代表

横山　雅（よこやまみやび）

（22歳）

1. 三段
2. 学生
（順天堂大4年）
3.
4. 石川県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●女子学生大会団体3位
●高校大会団体3位

25



長崎県代表

米村咲歩（よねむらさほ）

（22歳）

1. 三段
2. 学生
（大阪教育大4年）
3.
4. 長崎県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場
●女子学生大会団体･個人出場各2回
●高校選抜大会出場
●高校大会団体出場

26



香川県代表

橋本心瑛（はしもとみえ）

（18歳）

1. 三段
2. 高校生
（香川県立高松商業高3年）
3.
4. 香川県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場
●高校選抜大会出場
●高校大会団体出場・個人出場2回
●中学校大会個人出場

27



滋賀県代表

和田美咲（わだみさき）

（32歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（滋賀県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 香川県出身
5. ●選手権大会4回目出場
●都道府県女子大会出場
●警察大会団体・個人出場
●国スポ優勝2位3位

28



岡山県代表

武田詞葉（たけだことは）

（19歳）

1. 三段
2. 学生
（福岡教育大1年）
3.
4. 岡山県出身
5. ●選手権大会初出場
●高校選抜大会出場
●高校大会団体3位
●国スポ優勝

29



神奈川県代表

松本智香（まつもとちか）

（30歳）

1. 六段
2. 警察官
（神奈川県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会5回目出場3位
●世界大会団体優勝2回
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●東西対抗大会出場
●警察大会団体2位3位・個人優勝2位3位

30



三重県代表

濱﨑理子（はまざきりこ）

（20歳）

1. 三段
2. 学生
（環太平洋大2年）
3.
4. 三重県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場2回
●女子学生大会団体出場・個人出場2回
●高校選抜大会出場
●高校大会団体3位
●中学校大会団体出場2回・個人出場

31



青森県代表

山田那々良（やまだななみ）

（20歳）

1. 三段
2. 学生
（日本体育大2年）
3.
4. 青森県出身
5. ●選手権大会初出場
●女子学生大会個人出場
●高校大会団体3位
●中学校大会団体出場
●国スポ2位

32



東京都代表

山北愛子（やまきたあいこ）

（旧姓　永井）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（警視庁）
3. 明星大卒
4. 千葉県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会個人出場

33



神奈川県代表

諸岡温子（もろおかあつこ）

（26歳）

1. 五段
2. 警察官
（神奈川県警察）
3. 中央大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会3回目出場第59回大会優勝
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●東西対抗大会出場

34



京都府代表

尾﨑麻美（おざきあさみ）

（旧姓　髙馬）

（36歳）

1. 錬士六段
2. 警察官
（京都府警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 岡山県出身
5. ●選手権大会8回目出場
●東西対抗大会出場
●都道府県女子大会優勝2位3位
●警察大会団体3位
●女子学生大会団体優勝

35



福島県代表

五十嵐和奏（いがらしわかな）

（21歳）

1. 三段
2. 学生
（筑波大3年）
3.
4. 福島県出身
5. ●選手権大会3回目出場
●都道府県女子大会出場
●高校選抜大会優勝
●高校大会団体優勝

36



沖縄県代表

キーファー和（きーふぁーのどか）

（旧姓　本田）

（27歳）

1. 五段
2. 会社員
（合同会社かりゆしハート）
3. 大阪体育大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会出場
●矯正大会団体優勝2回・個人優勝2回

37



愛知県代表

湯川愛梨（ゆかわまり）

（24歳）

1. 四段
2. 会社員
（トヨタ自動車株式会社）
3. 大阪体育大卒
4. 愛媛県出身
5. ●選手権大会初出場
●女子学生大会個人出場

38



富山県代表

福原波奈（ふくはらはな）

（25歳）

1. 四段
2. 教員
（富山県立新湊高）
3. 京都産業大卒
4. 富山県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会出場2回
●教職員大会個人出場
●女子学生大会団体出場2回

39



福岡県代表

柿元冴月（かきもとさつき）

（25歳）

1. 四段
2. 警察官
（福岡県警察）
3. 法政大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会4回目出場3位
●東西対抗大会出場
●警察大会団体優勝3位
●女子学生大会団体2位3位2回
●高校選抜大会2位
●高校大会団体2位2回・個人優勝
●中学校大会個人優勝
●国スポ優勝

40



東京都代表

笠　日向子（りゅうひなこ）

（24歳）

1. 四段
2. 警察官
（警視庁）
3. 筑波大卒
4. 福岡県出身
5. ●選手権大会5回目出場
●警察大会団体優勝
●女子学生大会団体優勝・個人3位

41



千葉県代表

鈴木瞳美（すずきひとみ）

（22歳）

1. 四段
2. 学生
（法政大4年）
3.
4. 千葉県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会優勝出場3回
●女子学生大会団体3位・個人出場
●高校選抜大会優勝
●高校大会団体優勝2回・個人出場
●国スポ3位

42



高知県代表

佐竹　蘭（さたけらん）

（26歳）

1. 四段
2. 警察官
（高知県警察）
3. 中央大卒
4. 高知県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会出場2回
●警察大会個人出場2回
●女子学生大会団体優勝
●国スポ出場

43



大阪府代表

横山万優（よこやままゆ）

（旧姓　玉置）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（大阪府警察）
3. 近畿大卒
4. 静岡県出身
5. ●選手権大会4回目出場3位
●東西対抗大会出場
●警察大会団体優勝2位

44



熊本県代表

西尾明日菜（にしおあすな）

（33歳）

1. 錬士六段
2. 教員
（専修大熊本玉名高）
3. 鹿屋体育大卒
4. 大阪府出身
5. ●選手権大会初出場
●東西対抗大会出場
●都道府県女子大会2位
●青年大会団体・個人優勝
●教職員大会個人2位3位各1回
●女子学生大会団体優勝
●高校大会団体2位
●国スポ出場2回

45



広島県代表

名越友美（なごしともみ）

（33歳）

1. 五段
2. 警察官
（広島県警察）
3. 大阪体育大卒
4. 広島県出身
5. ●選手権大会5回目出場
●都道府県女子大会出場
●国スポ出場

46



埼玉県代表

小川梨々香（おがわりりか）

（27歳）

1. 五段
2. 会社員
（伊田テクノス株式会社）
3. 日本体育大卒
4. 新潟県出身
5. ●選手権大会9回目出場
●東西対抗大会出場
●都道府県女子大会優勝2回
●実業団女子大会優勝2回
●女子学生大会3位
●国スポ3位

47



岩手県代表

髙橋佑実（たかはしゆみ）

（28歳）

1. 五段
2. 警察官
（岩手県警察）
3. 平成国際大卒
4. 岩手県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場
●警察大会個人出場

48



福井県代表

小山結衣（こやまゆい）

（22歳）

1. 三段
2. 学生
（福井工業大4年）
3.
4. 長崎県出身
5. ●選手権大会初出場
●女子学生大会団体・個人出場

49



大阪府代表

大嶋友莉亜（おおしま ゆりあ）

（25歳）

1. 四段
2. 警察官
（大阪府警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 愛知県出身
5. ●選手権大会5回目出場2位
●アジア・オセアニア大会団体優勝
●警察大会団体2位

50



秋田県代表

高橋秋羽（たかはし しゅう）

（21歳）

1. 三段
2. 学生
（東京農業大3年）
3.
4. 秋田県出身
5. ●選手権大会初出場
●女子学生大会団体出場
●高校大会団体・個人出場
●高校選抜大会出場2回
●中学校大会団体出場
●国スポ2位出場2回

51



茨城県代表

中村美月（なかむら みつき）

（18歳）

1. 二段
2. 高校生
（茨城県立守谷高3年）
3.
4. 新潟県出身
5. ●選手権大会初出場
●高校選抜大会出場
●中学校大会個人出場

52



愛知県代表

姉川恵里香（あねがわ えりか）

（32歳）

1. 三段
2. 自営業
3. 中村学園高卒
4. 佐賀県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場

53



愛媛県代表

中司美羽（なかつかみう）

（19歳）

1. 三段
2. 学生
（中央大1年）
3.
4. 愛媛県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●都道府県女子大会出場
●高校大会団体2位3位・個人優勝
●国スポ優勝

54



奈良県代表

勝見理沙（かつみ りさ）

（旧姓　鈴木）

（32歳）

1. 四段
2. 公務員
（生駒市役所）
3. 関西学院大卒
4. 岡山県出身
5. ●選手権大会初出場
●実業団女子大会優勝
●女子学生大会団体2位

55



埼玉県代表

村山千夏（むらやま ちなつ）

（52歳）

1. 教士七段
2. 警察官
（埼玉県警察）
3. 筑波大卒
4. 新潟県出身
5. ●選手権大会26回目出場
第44・45・46・48・50回大会優勝2位2回3位1回
●世界大会団体優勝2回
●東西対抗大会出場
●都道府県女子大会優勝2位各1回3位3回
●選抜女子七段大会2位
●警察大会個人優勝1回3位2回
●国スポ優勝2位3位各1回

56



宮崎県代表

安藤美桜（あんどう みお）

（旧姓　平川）

（24歳）

1. 四段
2. 警察官
（宮崎県警察）
3. 宮崎県立高千穂高卒
4. 宮崎県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会団体3位・個人出場
●国スポ出場

57



静岡県代表

川合芳奈（かわい かんな）

（24歳）

1. 四段
2. 教員
（東海大付属静岡翔洋高）
3. 筑波大卒
4. 静岡県出身
5. ●選手権大会6回目出場3位
●世界大会団体優勝
●教職員大会個人優勝
●女子学生大会団体優勝2位・個人優勝

58



栃木県代表

大河原彩香（おおかわら あやか）

（19歳）

1. 三段
2. 学生
（明治大2年）
3.
4. 栃木県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場4回
●女子学生大会団体出場
●高校選抜大会出場
●高校大会団体・個人出場各2回
●中学校大会団体出場2回・個人出場1回
●国スポ優勝

59



東京都代表

村井滉菜（むらい ひな）

（28歳）

1. 五段
2. 警察官
（警視庁）
3. 国士舘大卒
4. 広島県出身
5. ●選手権大会初出場
●警察大会個人出場

60



北海道代表

関川絢心（せきかわ あやね）

（25歳）

1. 四段
2. 警察官
（北海道警察）
3. 札幌日本大高卒
4. 北海道出身
5. ●選手権大会4回目出場
●都道府県女子大会出場
●警察大会団体・個人出場
●国スポ出場

61



千葉県代表

鬼塚彩乃（おにづか あやの）

（31歳）

1. 五段
2. 警察官
（千葉県警察）
3. 清和大卒
4. 千葉県出身
5. ●選手権大会5回目出場
●東西対抗大会出場
●都道府県女子大会優勝
●警察大会団体・個人出場
●女子学生大会出場

62



山口県代表

橋本陽菜（はしもと ひな）

（20歳）

1. 三段
2. 学生
（鹿屋体育大2年）
3.
4. 山口県出身
5. ●選手権大会2回目出場
●女子学生大会団体2位
●高校大会団体・個人優勝
●国スポ優勝

63



兵庫県代表

小川真英（おがわ さなえ）

（23歳）

1. 四段
2. 警察官
（兵庫県警察）
3. 中央大卒
4. 埼玉県出身
5. ●選手権大会4回目出場
●都道府県女子大会優勝2位
●女子学生大会団体優勝
●高校大会団体2位
●国スポ優勝

64



佐賀県代表

上野留実（うえの るみ）

（29歳）

1. 五段
2. 警察官
（佐賀県警察）
3. 鹿屋体育大卒
4. 佐賀県出身
5. ●選手権大会初出場
●都道府県女子大会出場2回
●警察大会団体出場2回・個人出場5回
●女子学生大会個人出場
●国スポ3位

公開演武者の紹介

〔日本剣道形〕

演　武　者



東　良美　剣道範士八段

打太刀



山﨑　尚　剣道範士八段

仕太刀

日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形７本、小太刀の形３本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修錬の基本となるものです。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

１　大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

２　大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。

３　大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

全日本剣道選手権大会入賞者一覧

第１回大会（昭和28年11月８日、蔵前国技館）
優　勝　榊原　　正（愛知、錬士、33）
第２位　阿部　三郎（東京、教士、34）
第３位　鈴木　守治（愛知、錬士、32）
第４位　植田　　一（香川、教士、40）

第２回大会（昭和29年10月10日、東京両国メモリアルホール）
優　勝　小西雄一郎（福岡、錬士、32）
第２位　中尾　　巌（兵庫、教士、38）
第３位　中倉　　清（鹿児島、教士、44）
第４位　阿部　三郎（東京、教士、34）

第３回大会（昭和30年11月20日、東京両国国際スタジアム）
優　勝　中村　太郎（神奈川、教士、33）
第２位　植田　　一（香川、教士、42）
第３位　長島　末吉（東京、教士、30）
第４位　田島　善人（佐賀、教士、34）

第４回大会（昭和31年11月18日、東京体育館）
優　勝　浅川　春男（岐阜、教士、37）
第２位　中村　太郎（神奈川、教士、34）
第３位　阿部　三郎（東京、教士、37）
第４位　嶽崎　　操（福岡、錬士、38）

第５回大会（昭和32年11月17日、東京体育館）
優　勝　森田　信尊（長崎、教士六段、39）
第２位　松尾　廉二（広島、教士六段、41）
第３位　阿部　三郎（東京、教士七段、38）
第４位　園田　政治（大阪、錬士六段、30）

第６回大会（昭和33年11月９日、東京体育館）
優　勝　鈴木　守治（愛知、教士六段、37）
第２位　中村　太郎（神奈川、教士七段、36）
第３位　矢野　太郎（兵庫、教士六段、35）
第４位　伊保　清次（東京、教士六段、38）

第７回大会（昭和34年11月29日、東京体育館）
優　勝　中村　太郎（神奈川、教士七段、37）
第２位　大浦　芳彦（福岡、教士七段、34）
第３位　津脇　良夫（山口、教士六段、38）
第４位　園田　政治（大阪、教士六段、32）

第８回大会（昭和35年11月27日、東京体育館）
優　勝　桑原　哲明（宮崎、五段、21）
第２位　浦本　徹誠（大阪、教士七段、35）
第３位　大浦　芳彦（福岡、教士七段、35）
第３位　蓮井　　肇（兵庫、教士七段、43）

第９回大会（昭和36年12月３日、東京体育館）
優　勝　伊保　清次（東京、教士七段、41）
第２位　小沼　宏至（東京、教士七段、34）
第３位　恵土　孝吉（愛知、五段、22）
第３位　谷口　安則（福岡、教士七段、40）

第10回大会（昭和37年12月２日、東京体育館）
優　勝　戸田　忠男（滋賀、五段、23）
第２位　片山　峯男（熊本、教士七段、44）
第３位　佐藤　博信（東京、教士六段、31）
第３位　恵土　孝吉（愛知、五段、23）

第11回大会（昭和38年12月１日、東京体育館）
優　勝　矢野　太郎（兵庫、教士七段、40）
第２位　戸田　忠男（滋賀、五段、24）
第３位　穐山　嘉昭（佐賀、五段、21）
第３位　小林　三留（大阪、五段、26）

第12回大会（昭和39年11月29日、日本武道館）
優　勝　戸田　忠男（滋賀、五段、25）
第２位　西山　泰弘（東京、錬士六段、28）
第３位　中村　　毅（東京、五段、23）
第３位　恵土　孝吉（愛知、五段、25）

第13回大会（昭和40年12月５日、日本武道館）
優　勝　西山　泰弘（東京、錬士六段、29）
第２位　恵土　孝吉（愛知、六段、26）
第３位　有馬　光男（大阪、五段、22）
第３位　佐藤　博信（東京、教士七段、34）

第14回大会（昭和41年12月４日、日本武道館）
優　勝　千葉　　仁（東京、五段、22）
第２位　村瀬　隆平（岐阜、五段、26）
第３位　田中　信義（島根、七段、43）
第３位　西出　　功（京都、五段、26）

第15回大会（昭和42年12月３日、日本武道館）
優　勝　堀田　国弘（兵庫、教士七段、41）
第２位　千葉　　仁（東京、五段、23）
第３位　嶽下　武紀（熊本、五段、22）
第３位　白藤　一郎（大阪、五段、22）

第16回大会（昭和43年12月１日、日本武道館）
優　勝　山崎　正平（新潟、教士七段、45）
第２位　戸田　忠男（東京、錬士五段、29）
第３位　野沢　治雄（埼玉、錬士七段、30）
第３位　松葉　忠文（岐阜、五段、25）

第17回大会（昭和44年12月７日、日本武道館）
優　勝　千葉　　仁（東京、錬士六段、25）
第２位　矢野　洋二（愛媛、五段、23）
第３位　有馬　光男（大阪、錬士六段、26）
第３位　藤田　長久（岡山、五段、25）

第18回大会（昭和45年12月６日、日本武道館）
優　勝　中村　　毅（東京、錬士六段、29）
第２位　千葉　　仁（東京、錬士六段、26）
第３位　木村　謙竜（和歌山、五段、23）
第３位　佐藤　博信（東京、教士七段、39）

第19回大会（昭和46年12月５日、日本武道館）
優　勝　川添　哲夫（東京、四段、21）
第２位　佐山　春夫（栃木、五段、23）
第３位　川井　光男（東京、錬士六段、26）
第３位　佐藤　博信（東京、教士七段、40）

第20回大会（昭和47年12月３日、日本武道館）
優　勝　千葉　　仁（東京、錬士六段、28）
第２位　川添　哲夫（東京、四段、22）
第３位　有馬　光男（大阪、錬士六段、29）
第３位　山田　博徳（熊本、五段、24）

第21回大会（昭和48年12月２日、日本武道館）
優　勝　山田　博徳（熊本、錬士五段、25）
第２位　有馬　光男（大阪、錬士六段、30）
第３位　稲吉　正道（愛知、錬士五段、25）
第３位　川添　哲夫（高知、四段、23）

第22回大会（昭和49年12月８日、日本武道館）
優　勝　横尾　英治（和歌山、五段、24）
第２位　稲吉　正道（愛知、錬士五段、26）
第３位　野崎　義昭（愛知、五段、26）
第３位　明石　和巳（岩手、五段、27）

第23回大会（昭和50年12月７日、日本武道館）
優　勝　川添　哲夫（高知、五段、25）
第２位　宮澤　保信（宮城、四段、23）
第３位　明石　和巳（岩手、錬士五段、28）
第３位　横尾　英治（和歌山、五段、25）

第24回大会（昭和51年12月５日、日本武道館）
優　勝　右田幸次郎（熊本、四段、23）
第２位　佐山　春夫（栃木、錬士六段、28）
第３位　横尾　英治（和歌山、五段、26）
第３位　川添　哲夫（高知、五段、26）

第25回大会（昭和52年12月11日、日本武道館）
優　勝　小川　　功（大阪、教士七段、34）
第２位　末野　栄二（鹿児島、錬士六段、28）
第３位　右田幸次郎（熊本、四段、24）
第３位　梯　　正治（東京、錬士六段、30）

第26回大会（昭和53年12月10日、日本武道館）
優　勝　石橋　正久（福岡、五段、27）
第２位　西川　清紀（東京、四段、23）
第３位　香田　郡秀（茨城、四段、21）
第３位　山田　博徳（熊本、錬士六段、30）

第27回大会（昭和54年12月９日、日本武道館）
優　勝　末野　栄二（鹿児島、錬士六段、30）
第２位　古川　和男（北海道、五段、25）
第３位　山田　博徳（熊本、錬士七段、31）
第３位　川添　哲夫（高知、五段、29）

第28回大会（昭和55年12月７日、日本武道館）
優　勝　外山　光利（宮崎、五段、26）
第２位　山田　博徳（熊本、教士七段、32）
第３位　西川　清紀（東京、五段、25）
第３位　渡辺　三則（高知、錬士六段、33）

第29回大会（昭和56年12月６日、日本武道館）
優　勝　中田　琇士（東京、教士六段、34）
第２位　小坂　達明（大阪、錬士七段、33）
第３位　石塚　美文（大阪、錬士六段、30）
第３位　松田　勇人（奈良、五段、24）

第30回大会（昭和57年11月３日、日本武道館）
優　勝　石田　健一（大阪、錬士六段、33）
第２位　小坂　達明（大阪、教士七段、34）
第３位　三宅　　一（神奈川、錬士六段、32）
第３位　氏家　道男（東京、錬士六段、30）

第31回大会（昭和58年11月３日、日本武道館）
優　勝　東　　一良（愛知、錬士六段、33）
第２位　北村　浩二（熊本、錬士六段、31）
第３位　大久保和彦（神奈川、錬士六段、32）
第３位　福多　雅英（徳島、四段、24）

第32回大会（昭和59年11月３日、日本武道館）
優　勝　原田　哲夫（京都、錬士六段、31）
第２位　加治屋速人（埼玉、錬士六段、30）
第３位　安田　水紀（埼玉、錬士六段、35）
第３位　下島貴代一（岐阜、錬士六段、30）

第33回大会（昭和60年11月３日、日本武道館）
優　勝　石塚　美文（大阪、錬士六段、34）
第２位　近藤　　亘（徳島、錬士六段、30）
第３位　西川　清紀（東京、錬士六段、30）
第３位　北村　浩二（熊本、錬士六段、33）

第34回大会（昭和61年11月３日、日本武道館）
優　勝　岩堀　　透（大阪、教士七段、34）
第２位　亀井　　徹（熊本、錬士六段、32）
第３位　石塚　美文（大阪、教士六段、35）
第３位　柏木　雄二（鹿児島、錬士六段、33）

第35回大会（昭和62年11月３日、日本武道館）
優　勝　西川　清紀（東京、錬士六段、32）
第２位　東　　一良（愛知、教士六段、37）
第３位　大城戸　功（愛媛、錬士六段、32）
第３位　加治屋速人（埼玉、錬士六段、33）

第36回大会（昭和63年11月３日、日本武道館）
優　勝　林　　朗（北海道、錬士六段、30）
第２位　大澤　規男（埼玉、錬士六段、28）
第３位　西川　清紀（東京、錬士六段、33）
第３位　福井　悦郎（広島、錬士六段、33）

第37回大会（平成元年11月３日、日本武道館）
優　勝　西川　清紀（東京、錬士七段、34）
第２位　伊藤　次男（神奈川、錬士六段、32）
第３位　栗田和市郎（東京、錬士六段、33）
第３位　大澤　規男（埼玉、錬士六段、29）

第38回大会（平成２年11月３日、日本武道館）
優　勝　宮崎　正裕（神奈川、六段、27）
第２位　白川　雅博（東京、錬士六段、35）
第３位　進藤　正広（秋田、錬士六段、33）
第３位　前原　正作（鹿児島、錬士六段、36）

第39回大会（平成３年11月３日、日本武道館）
優　勝　宮崎　正裕（神奈川、錬士六段、28）
第２位　栄花　英幸（北海道、五段、27）
第３位　石田　利也（大阪、錬士六段、30）
第３位　田島　　稔（東京、錬士六段、29）

第40回大会（平成４年11月３日、日本武道館）
優　勝　石田　利也（大阪、錬士六段、31）
第２位　石田　洋二（大阪、五段、27）
第３位　岡本　和明（東京、五段、24）
第３位　髙橋　英明（京都、五段、27）

第41回大会（平成５年11月３日、日本武道館）
優　勝　宮崎　正裕（神奈川、錬士六段、30）
第２位　宮崎　史裕（神奈川、六段、28）
第３位　出﨑　忠幸（東京、六段、30）
第３位　山中　洋介（鳥取、錬士七段、33）

第42回大会（平成６年11月３日、日本武道館）
優　勝　西川　清紀（東京、教士七段、39）
第２位　髙橋　英明（京都、錬士六段、29）
第３位　田島　　稔（東京、錬士六段、32）
第３位　岡本　和明（東京、五段、26）

第43回大会（平成７年11月３日、日本武道館）
優　勝　石田　利也（大阪、教士七段、34）
第２位　髙橋　英明（京都、錬士六段、30）
第３位　大澤　規男（埼玉、教士七段、35）
第３位　寺地賢二郎（東京、錬士六段、32）

第44回大会（平成８年11月３日、日本武道館）
優　勝　宮崎　正裕（神奈川、錬士七段、33）
第２位　原田　　悟（東京、四段、23）
第３位　宮崎　史裕（神奈川、錬士六段、31）
第３位　栄花　英幸（北海道、錬士六段、32）

第45回大会（平成９年11月３日、日本武道館）
優　勝　宮崎　史裕（神奈川、錬士六段、32）
第２位　宮崎　正裕（神奈川、教士七段、34）
第３位　栄花　直輝（北海道、六段、30）
第３位　栄花　英幸（北海道、錬士六段、33）

第46回大会（平成10年11月３日、日本武道館）
優　勝　宮崎　正裕（神奈川、教士七段、35）
第２位　江藤　善久（大阪、錬士六段、32）
第３位　原田　　悟（東京、四段、25）
第３位　岩佐　英範（東京、五段、28）

第47回大会（平成11年11月３日、日本武道館）
優　勝　宮崎　正裕（神奈川、教士七段、36）
第２位　江藤　善久（大阪、錬士六段、33）
第３位　石原　一幸（群馬、錬士六段、33）
第３位　佐藤　充伸（宮城、五段、25）

第48回大会（平成12年11月３日、日本武道館）
優　勝　栄花　直輝（北海道、錬士六段、33）
第２位　宮崎　正裕（神奈川、教士七段、37）
第３位　立花　義人（福岡、四段、25）
第３位　原田　　悟（東京、五段、27）

第49回大会（平成13年11月３日、日本武道館）
優　勝　岩佐　英範（東京、錬士六段、31）
第２位　佐藤　充伸（宮城、五段、27）
第３位　佐藤　博光（大阪、五段、28）
第３位　倉成　健治（愛知、教士七段、39）

第50回大会（平成14年11月２日･３日、日本武道館）
優　勝　安藤　戒牛（愛知、五段、29）
第２位　岩佐　英範（東京、錬士六段、32）
第３位　小関　太郎（東京、五段、26）
第３位　原田　　悟（東京、五段、29）

第51回大会（平成15年11月３日、日本武道館）
優　勝　近本　　巧（愛知、錬士六段、32）
第２位　安藤　戒牛（愛知、五段、30）
第３位　深谷　　仁（東京、錬士六段、33）
第３位　田崎　智春（福島、五段、29）

第52回大会（平成16年11月３日、日本武道館）
優　勝　鈴木　　剛（千葉、六段、32）
第２位　原田　　悟（東京、五段、31）
第３位　溝口　夏樹（愛知、六段、31）
第３位　近本　　巧（愛知、錬士六段、33）

第53回大会（平成17年11月３日、日本武道館）
優　勝　原田　　悟（東京、六段、32）
第２位　内村　良一（東京、四段、25）
第３位　北条　将臣（神奈川、六段、31）
第３位　上園　　修（鹿児島、錬士六段、34）

第54回大会（平成18年11月３日、日本武道館）
優　勝　内村　良一（東京、五段、26）
第２位　古澤　庸臣（熊本、五段、28）
第３位　外山　浩規（愛知、錬士六段、32）
第３位　髙鍋　　進（神奈川、五段、30）

第55回大会（平成19年11月３日、日本武道館）
優　勝　寺本　将司（大阪、六段、32）
第２位　髙鍋　　進（神奈川、六段、31）
第３位　佐藤　博光（大阪、錬士六段、34）
第３位　木和田大起（大阪、五段、29）

第56回大会（平成20年11月３日、日本武道館）
優　勝　正代　賢司（神奈川、五段、27）
第２位　若生　大輔（北海道、六段、31）
第３位　有場　賢輔（広島、五段、28）
第３位　米屋　勇一（埼玉、六段、32）

第57回大会（平成21年11月３日、日本武道館）
優　勝　内村　良一（東京、五段、29）
第２位　高橋　秀人（東京、五段、29）
第３位　寺本　将司（大阪、錬士六段、34）
第３位　髙坂　雄介（静岡、四段、29）

第58回大会（平成22年11月３日、日本武道館）
優　勝　髙鍋　　進（神奈川、錬士六段、34）
第２位　内村　良一（東京、五段、30）
第３位　畠中　宏輔（東京、五段、23）
第３位　古川　耕輔（大阪、六段、31）

第59回大会（平成23年11月３日、日本武道館）
優　勝　髙鍋　　進（神奈川、錬士六段、35）
第２位　東永　幸浩（埼玉、錬士六段、34）
第３位　岩下　智久（千葉、錬士六段、33）
第３位　内村　良一（東京、六段、31）

第60回大会（平成24年11月３日、日本武道館）
優　勝　木和田大起（大阪、錬士六段、34）
第２位　内村　良一（東京、錬士六段、32）
第３位　網代　忠勝（兵庫、六段、32）
第３位　髙鍋　　進（神奈川、錬士六段、36）

第61回大会（平成25年11月３日、日本武道館）
優　勝　内村　良一（東京、錬士六段、33）
第２位　小谷　明徳（千葉、五段、29）
第３位　正代　正博（東京、五段、29）
第３位　安藤　　翔（北海道、四段、23）

第62回大会（平成26年11月３日、日本武道館）
優　勝　竹ノ内佑也（福岡、四段、21）
第２位　國友錬太朗（福岡、四段、24）
第３位　西村　英久（熊本、五段、25）
第３位　畠中　宏輔（東京、五段、27）

第63回大会（平成27年11月３日、日本武道館）
優　勝　西村　英久（熊本、五段、26）
第２位　勝見　洋介（神奈川、五段、29）
第３位　梅ヶ谷　翔（福岡、三段、20）
第３位　竹下　洋平（大分、五段、27）

第64回大会（平成28年11月３日、日本武道館）
優　勝　勝見　洋介（神奈川、五段、30）
第２位　國友錬太朗（福岡、五段、26）
第３位　地白　允大（北海道、五段、29）
第３位　宮本　敬太（茨城、四段、21）

第65回大会（平成29年11月３日、日本武道館） 優　勝　西村　英久（熊本、五段、28） 第２位　内村　良一（東京、錬士七段、37） 第３位　林田　匡平（福井、四段、23） 第３位　畠中　宏輔（東京、錬士六段、30）	**第66回大会**（平成30年11月３日、日本武道館） 優　勝　西村　英久（熊本、六段、29） 第２位　内村　良一（東京、錬士七段、38） 第３位　安藤　　翔（北海道、五段、28） 第３位　竹下　洋平（大分、五段、30）
第67回大会（令和元年11月３日、丸善インテックアリーナ大阪） 優　勝　國友錬太朗（福岡、五段、29） 第２位　松﨑賢士郎（茨城、四段、21） 第３位　前田　康喜（大阪、五段、26） 第３位　竹下　洋平（大分、六段、31）	**第68回大会**（令和３年３月14日、ホワイトリング） 優　勝　松﨑賢士郎（茨城、四段、22） 第２位　村上　雷多（大阪、五段、31） 第３位　星子　啓太（鹿児島、四段、22） 第３位　林田　匡平（福井、五段、27）
第69回大会（令和３年11月３日、日本武道館） 優　勝　星子　啓太（鹿児島、四段、23） 第２位　林田　匡平（福井、五段、27） 第３位　山田　将也（愛知、四段、24） 第３位　村山　　仁（神奈川、錬士六段、32）	**第70回大会**（令和４年11月３日、日本武道館） 優　勝　村上　哲彦（愛媛、五段、30） 第２位　安藤　　翔（東京、六段、32） 第３位　矢野　貴之（東京、五段、26） 第３位　池田虎之介（福岡、四段、21）
第71回大会（令和５年11月３日、日本武道館） 優　勝　棗田　龍介（広島、四段、23） 第２位　松﨑賢士郎（茨城、五段、25） 第３位　星子　啓太（東京、五段、25） 第３位　竹ノ内佑也（東京、六段、30）	**第72回大会**（令和６年11月３日、日本武道館） 優　勝　竹ノ内佑也（東京、六段、31） 第２位　合屋　　龍（京都、錬士六段、32） 第３位　棗田　龍介（広島、四段、24） 第３位　松﨑賢士郎（茨城、五段、26）
第73回大会（令和７年11月３日、日本武道館） 優　勝　星子　啓太（東京、五段、27） 第２位　國友錬太朗（福岡、錬士六段、35） 第３位　村上　哲彦（愛媛、錬士六段、33） 第３位　林田　匡平（長崎、六段、31）	**第74回大会**（令和８年11月３日、日本武道館） 優　勝 第２位 第３位 第３位

メ　　モ

全日本女子剣道選手権大会入賞者一覧

第１回大会（昭和37年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝・柳沼　節子（東京、五段、24）
第２位・中村　圭江（東京、三段、19）
第３位・越田　浩子（静岡、四段、21）
第３位・川口　一江（愛知、三段、27）

第２回大会（昭和38年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝・柳沼　節子（東京、五段、25）
第２位・越田　浩子（静岡、四段、22）
第３位・中村　圭江（東京、三段、20）
第３位・高野　洋子（神奈川、二段、20）

第３回大会（昭和39年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　松尾　和恵（広島、二段、17）
第２位　井上千代子（北海道、四段、38）
第３位　越田　浩子（静岡、五段、23）
第３位　永吉ミヨコ（奈良、初段、17）

第４回大会（昭和40年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　松尾　和恵（東京、三段、18）
第２位　田渕　和江（岡山、二段、18）
第３位　佐藤　征代（兵庫、二段、25）
第３位　井上千代子（北海道、五段、39）

第５回大会（昭和41年５月３日、神戸市中央体育館）
優　勝　田渕　和江（岡山、二段、19）
第２位　船越　弘美（大分、三段、24）
第３位　高野　文江（神奈川、二段、17）
第３位　松尾　和恵（東京、三段、19）

第６回大会（昭和42年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　松尾　和恵（東京、四段、20）
第２位　石本　妙子（福井、二段、18）
第３位　木村　慶子（新潟、二段、16）
第３位　佐藤　征代（兵庫、三段、27）

第７回大会（昭和43年５月３日、神戸市中央体育館）
優　勝　田渕　和江（岡山、三段、21）
第２位　中矢　美保（愛媛、三段、19）
第３位　高野　文江（神奈川、二段、19）
第３位　高橋　節子（福島、三段、20）

第８回大会（昭和44年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　桑原　永子（熊本、二段、18）
第２位　高木　松枝（静岡、三段、21）
第３位　古場美智子（長崎、三段、21）
第３位　坂下　恵子（鹿児島、三段、22）

第９回大会（昭和45年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　桑原　永子（東京、三段、19）
第２位　羽賀　幸子（茨城、三段、18）
第３位　田渕　和江（岡山、四段、23）
第３位　須藤　文子（福岡、二段、18）

第10回大会（昭和46年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　桑原　永子（熊本、三段、20）
第２位　佐竹　千代（高知、三段、20）
第３位　池田　百代（岐阜、初段、16）
第３位　工藤十四子（青森、三段、19）

第11回大会（昭和47年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　高橋　政子（東京、三段、19）
第２位　久米村加代子（鹿児島、二段、17）
第３位　吉峰美智子（熊本、三段、19）
第３位　小松　律子（秋田、二段、17）

第12回大会（昭和48年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　黒須　厚子（栃木、三段、18）
第２位　久米村加代子（大阪、二段、18）
第３位　平川　潤子（京都、二段、16）
第３位　満石　輝代（岐阜、二段、16）

第13回大会（昭和49年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　黒須　厚子（栃木、三段、19）
第２位　浜田ひで子（三重、二段、19）
第３位　尼田　美保（山口、二段、17）
第３位　平川　潤子（京都、二段、17）

第14回大会（昭和50年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　田中由美子（大阪、三段、19）
第２位　吉峰美智子（熊本、四段、22）
第３位　吉野都起子（神奈川、四段、24）
第３位　根本　道世（大阪、三段、20）

第15回大会（昭和51年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　黒須　厚子（東京、三段、21）
第２位　武居ひろみ（山口、二段、18）
第３位　土屋　明美（山形、二段、17）
第３位　渡辺みどり（徳島、三段、19）

第16回大会（昭和52年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　根本　道世（大阪、四段、22）
第２位　堀部あけみ（茨城、四段、20）
第３位　前田シン子（群馬、五段、28）
第３位　足立　善子（滋賀、三段、20）

第17回大会（昭和53年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　根本　道世（大阪、四段、23）
第２位　堀部あけみ（茨城、四段、21）
第３位　小松　律子（神奈川、四段、23）
第３位　中川　真紀（兵庫、三段、21）

第18回大会（昭和54年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　小松　律子（神奈川、四段、24）
第２位　長谷川美奈子（新潟、二段、17）
第３位　矢野かなえ（東京、三段、20）
第３位　裏鍛　領湖（北海道、三段、19）

第19回大会（昭和55年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　矢野かなえ（東京、四段、21）
第２位　二ツ森礼子（青森、三段、21）
第３位　藤田　弘美（福岡、二段、17）
第３位　森田　瑞恵（福岡、二段、20）

第20回大会（昭和56年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　森田　瑞恵（福岡、三段、21）
第２位　川添　永子（高知、五段、30）
第３位　光浦　清美（山口、三段、19）
第３位　二ツ森礼子（青森、四段、22）

第21回大会（昭和57年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　福之上里美（鹿児島、二段、17）
第２位　大村　金子（東京、四段、22）
第３位　上浦かなえ（東京、四段、23）
第３位　道園　郁代（熊本、三段、20）

第22回大会（昭和58年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　森田　瑞恵（東京、三段、23）
第２位　川添　永子（高知、五段、32）
第３位　都村　祐子（香川、四段、20）
第３位　福之上里美（東京、三段、18）

第23回大会（昭和59年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　福之上里美（東京、三段、19）
第２位　森田　瑞恵（東京、三段、24）
第３位　河野　聡子（大分、三段、20）
第３位　栗田　幸枝（埼玉、二段、16）

第24回大会（昭和60年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　三谷　菜智（愛知、三段、20）
第２位　藤田　弘美（茨城、四段、22）
第３位　平山　理恵（熊本、二段、16）
第３位　花野　優子（和歌山、二段、17）

第25回大会（昭和61年５月３日、大阪市中央体育館）
優　勝　佐竹みゆき（熊本、三段、18）
第２位　大堀真奈美（鹿児島、三段、19）
第３位　福之上里美（東京、四段、21）
第３位　柴田幸喜恵（愛知、三段、21）

第26回大会（昭和62年５月31日、守口市民体育館）
優　勝　川俣真由美（大阪、二段、17）
第２位　山崎　圭子（千葉、三段、20）
第３位　福之上里美（東京、四段、23）
第３位　栗田　幸枝（埼玉、三段、19）

第27回大会（昭和63年５月２日、大阪市中央体育館）
優　勝　溝口　貴子（宮崎、四段、20）
第２位　福之上真理子（大阪、四段、20）
第３位　栗田　幸枝（埼玉、三段、20）
第３位　岩瀬　留美（愛知、三段、21）

第28回大会（平成元年５月４日、大阪市中央体育館）
優　勝　倉地富美恵（東京、三段、21）
第２位　本多妃佐子（長崎、初段、17）
第３位　北里　弥生（熊本、三段、20）
第３位　堤　　利恵（大分、四段、20）

第29回大会（平成２年９月９日、守口市民体育館）
優　勝　近藤　洋子（東京、四段、23）
第２位　川畑　百重（大阪、二段、18）
第３位　倉地富美恵（東京、四段、22）
第３位　牛木さつ子（東京、五段、28）

第30回大会（平成３年９月８日、守口市民体育館）
優　勝　西　　晴乃（鹿児島、三段、19）
第２位　谷山百合香（鹿児島、三段、19）
第３位　福之上真理子（大阪、四段、23）
第３位　大村　恵理（岡山、三段、17）

第31回大会（平成４年９月13日、守口市民体育館）
優　勝　鍋山　玲子（福岡、二段、17）
第２位　谷山百合香（鹿児島、三段、20）
第３位　山本　恵美（東京、三段、21）
第３位　石井　真弓（埼玉、二段、18）

第32回大会（平成５年９月12日、守口市民体育館）
優　勝　石田真理子（大阪、五段、25）
第２位　川俣真由美（神奈川、四段、23）
第３位　國村　裕子（香川、四段、21）
第３位　鍋山　玲子（福岡、三段、18）

第33回大会（平成６年９月11日、守口市民体育館）
優　勝　石田真理子（大阪、五段、26）
第２位　西　　晴乃（鹿児島、四段、22）
第３位　高田　智子（大阪、四段、22）
第３位　村山　千夏（新潟、三段、20）

第34回大会（平成７年９月10日、愛知県武道館）
優　勝　川畑　百重（東京、四段、23）
第２位　有馬　佳代（鹿児島、三段、20）
第３位　高松　明美（東京、三段、22）
第３位　東森　　環（岡山、四段、23）

第35回大会（平成８年９月１日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　甲斐　敦子（大阪、三段、19）
第２位　川畑　百重（東京、四段、24）
第３位　大塚真由美（大阪、四段、24）
第３位　柿原　未砂（和歌山、三段、20）

第36回大会（平成９年９月７日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　大塚真由美（神奈川、五段、28）
第２位　村山　千夏（新潟、三段、23）
第３位　木村　美姫（奈良、四段、25）
第３位　根本麻弥子（千葉、五段、26）

第37回大会（平成10年９月13日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　大塚真由美（神奈川、五段、29）
第２位　河野　朋子（福岡、三段、21）
第３位　永尾　恒美（大阪、四段、24）
第３位　福田美佐子（長崎、四段、24）

第38回大会（平成11年９月12日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　朝比奈静香（東京、四段、24）
第２位　有馬　佳代（鹿児島、四段、24）
第３位　谷山百合香（京都、五段、28）
第３位　坪田　祐佳（岡山、三段、19）

第39回大会（平成12年９月３日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　朝比奈静香（東京、四段、25）
第２位　永尾　恒美（大阪、五段、26）
第３位　馬場　恵子（大阪、四段、22）
第３位　田中百合香（京都、五段、29）

第40回大会（平成13年９月２日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　堀口　恭子（山梨、四段、24）
第２位　有馬　佳代（鹿児島、四段、26）
第３位　黒岩　直美（福岡、五段、28）
第３位　福田美佐子（長崎、四段、27）

第41回大会（平成14年９月１日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　坪田　祐佳（岡山、四段、22）
第２位　有島　佳代（鹿児島、五段、27）
第３位　岡田　　圭（熊本、三段、22）
第３位　萩原　寿里（大阪、四段、23）

第42回大会（平成15年９月７日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　緒方　有希（熊本、四段、24）
第２位　朝比奈静香（東京、五段、28）
第３位　興梠　　舞（茨城、三段、22）
第３位　田中百合香（京都、六段、32）

第43回大会（平成16年９月５日、名古屋市中村スポーツセンター）
優　勝　岡田　　圭（熊本、四段、24）
第２位　新里知佳野（沖縄、四段、22）
第３位　島村　百重（東京、五段、32）
第３位　久木山満美（東京、五段、28）

第44回大会（平成17年９月４日、静岡県武道館）
優　勝　村山　千夏（埼玉、五段、31）
第２位　緒方　有希（熊本、五段、26）
第３位　宮川瑠璃子（茨城、三段、21）
第３位　恩田　　望（静岡、三段、19）

第45回大会（平成18年９月３日、静岡県武道館）
優　勝　村山　千夏（埼玉、五段、32）
第２位　緒方　有希（熊本、五段、27）
第３位　坪田　祐佳（岡山、五段、26）
第３位　内田さくら（静岡、五段、28）

第46回大会（平成19年９月２日、静岡県武道館）
優　勝　村山　千夏（埼玉、六段、33）
第２位　内田さくら（静岡、五段、29）
第３位　鈴木　愛梨（山形、三段、20）
第３位　坪田　祐佳（岡山、五段、27）

第47回大会（平成20年９月７日、静岡県武道館）
優　勝　坪田　祐佳（岡山、五段、28）
第２位　村山　千夏（埼玉、六段、34）
第３位　福田美佐子（長崎、錬士六段、34）
第３位　片渕　美和（大阪、四段、23）

第48回大会（平成21年９月27日、静岡県武道館）
優　勝　村山　千夏（埼玉、錬士六段、35）
第２位　庄島　幸恵（東京、錬士六段、33）
第３位　新里知佳野（新潟、五段、27）
第３位　坪田　祐佳（岡山、五段、29）

第49回大会（平成22年９月26日、静岡県武道館）
優　勝　石突小百合（東京、五段、25）
第２位　鷹見由紀子（千葉、四段、25）
第３位　山下久美子（東京、五段、27）
第３位　川越　　愛（兵庫、四段、24）

第50回大会（平成23年９月25日、兵庫県立武道館）
優　勝　村山　千夏（埼玉、錬士六段、37）
第２位　正代小百合（東京、五段、26）
第３位　黒河　香菜（広島、四段、24）
第３位　荒井　貴子（埼玉、五段、28）

第51回大会（平成24年９月２日、兵庫県立武道館）
優　勝　山本真理子（大阪、四段、24）
第２位　内田　　舞（熊本、三段、31）
第３位　山口　美紀（神奈川、四段、22）
第３位　宮川瑠璃子（山口、五段、28）

第52回大会（平成25年９月８日、兵庫県立武道館）
優　勝　山本真理子（大阪、五段、25）
第２位　竹村奈緒美（岐阜、四段、24）
第３位　小津野祐佳（岡山、錬士六段、33）
第３位　石塚　　芳（大阪、四段、25）

第53回大会（平成26年９月７日、兵庫県立武道館）
優　勝　田山　秋恵（大阪、五段、25）
第２位　松本　弥月（福岡、四段、22）
第３位　梅村　友絵（東京、五段、28）
第３位　山本真理子（大阪、五段、26）

第54回大会（平成27年９月13日、兵庫県立武道館）
優　勝　松本　弥月（神奈川、四段、23）
第２位　田山　秋恵（大阪、五段、26）
第３位　山本真理子（大阪、五段、27）
第３位　鷹見由紀子（千葉、五段、30）

第55回大会（平成28年９月11日、ホワイトリング）
優　勝　正代小百合（東京、六段、31）
第２位　大西ななみ（福岡、四段、21）
第３位　山本真理子（大阪、五段、28）
第３位　松本　弥月（神奈川、四段、24）

第56回大会（平成29年９月24日、ホワイトリング）
優　勝　高橋　萌子（神奈川、四段、24）
第２位　興梠　　舞（宮崎、四段、36）
第３位　山本真理子（大阪、五段、29）
第３位　渡邊　タイ（熊本、四段、25）

第57回大会（平成30年９月23日、ホワイトリング）
優　勝　高橋　萌子（神奈川、四段、25）
第２位　佐藤みのり（福島、四段、21）
第３位　松本　智香（福岡、四段、22）
第３位　大西ななみ（福井、四段、23）

第58回大会（令和元年９月８日、ホワイトリング）
優　勝　松本　弥月（神奈川、五段、27）
第２位　山本真理子（大阪、六段、31）
第３位　渡邊　タイ（熊本、五段、27）
第３位　竹中　美帆（茨城、四段、22）

第59回大会（令和３年３月14日、ホワイトリング）
優　勝　諸岡　温子（東京、三段、20）
第２位　山﨑　里奈（宮崎、四段、21）
第３位　竹中　美帆（栃木、四段、23）
第３位　小松　加奈（青森、四段、22）

第60回大会（令和3年9月19日、ジェイテクトアリーナ奈良）
優　勝　妹尾　舞香（福岡、四段、21）
第２位　志藤　綾子（埼玉、五段、29）
第３位　川合　芳奈（静岡、三段、19）
第３位　東堅　嘉怜（和歌山、三段、20）

第61回大会（令和4年9月4日、ジェイテクトアリーナ奈良）
優　勝　末永　真理（和歌山、錬六、34）
第２位　妹尾　舞香（福岡、四段、22）
第３位　村田　桃子（福岡、四段、24）
第３位　阿部　美洸（東京、五段、29）

第62回大会（令和5年9月3日、ジェイテクトアリーナ奈良）
優　勝　渡邊　タイ（熊本、六段、31）
第２位　妹尾　舞香（福岡、四段、23）
第３位　横山　万優（大阪、四段、26）
第３位　近藤　美洸（東京、六段、30）

第63回大会（令和６年11月３日、日本武道館）
優　勝　近藤　美洸（東京、六段、31）
第２位　渡邊　タイ（熊本、六段、32）
第３位　松本　弥月（神奈川、錬六、32）
第３位　妹尾　舞香（福岡、五段、24）

第64回大会（令和７年11月３日、日本武道館）
優　勝　高橋　萌子（神奈川、錬六、32）
第２位　大嶋友莉亜（大　阪、四段、24）
第３位　柿元　冴月（福　岡、四段、24）
第３位　妹尾　舞香（福　岡、五段、25）

第65回大会（令和８年11月３日、日本武道館） 優　勝 第２位 第３位 第３位	

MEMO

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

（会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号）

令和８年６月３０日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3　日本武道館内	03(3211)5804・F(3211)5807
会長　真砂　威	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14　靖国九段南ビル2階	03(3234)6271・F(3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地		電話・FAX
(一財)北海道剣道連盟	岡嶋　恒	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1	北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663・(820)1662・1663
青森県　〃	三上　順一	038-0059	青森市大字油川字中道19-6		017(787)2485・(787)2485
秋田県　〃	小松　誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10		018(838)1783・(845)3255
山形県　〃	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28		023(625)4825・(625)4826
岩手県　〃	小笠原宏志	020-0133	盛岡市青山4-13-30	(公財)岩手県体育協会会館　内	019(645)2220・(645)2220
(一財)宮城県　〃	井上　雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1		022(746)8461・(746)8462
福島県　〃	武藤士津夫	960-0102	福島市鎌田字町23	サラダハウスA101号	024(597)8218・(597)8218
(一財)茨城県　〃	水田　重則	310-0903	水戸市堀町1161-13		029(251)8811・(255)6228
栃木県　〃	白石　正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6	栃木県教育会館2階	028(624)4567・(627)4001
群馬県　〃	小林　一隆	371-0047	前橋市関根町3-4-8	ハイツホウレン107号	027(235)0870・(235)0870
(公財)埼玉県　〃	栗原　憲一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5	浦和合同庁舎4階	048(834)8869・(834)8879
(一財)東京都　〃	千葉　胤道	105-0004	港区新橋4-24-2		03(5405)2166・(5405)3680
(一財)千葉県　〃	岩井　啓能	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20		043(285)4331・(285)4333
(一社)神奈川県　〃	野見山　逕	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1	相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175・(321)6176
山梨県　〃	山本　洋一	409-3804	中央市井之口150-2		055(278)6162・(278)6163
(一財)新潟県　〃	荻荘　誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21	北陽ビル2階	025(384)4784・(384)4794
(一財)石川県　〃	近藤　繁彦	920-0811	金沢市小坂町西57-3	KSハイツ205号	076(253)0310・(253)0341
(一財)富山県　〃	牧本　雄一	939-8076	富山市太郎丸2－77	伊勢税理士事務所内	076(492)4040・(423)6087
(一財)福井県　〃	片山　外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18	サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616・(28)6616
(一財)長野県　〃	二木むつみ	380-0844	長野市諏訪町503		026(237)8939・(235)8266
(一社)静岡県　〃	二楊　高弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355		054(263)5428・(263)8367
(一財)愛知県　〃	大嶽　將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22		052(481)0093・(481)0095
岐阜県　〃	堤　俊彦	500-8384	岐阜市薮田南1-11-12	岐阜県水産会館611	058(274)1521・(274)8949
三重県　〃	中森　博文	514-0007	津市大谷町152	大谷ハイム1-202号	059(226)5975・(229)7407
(一財)滋賀県　〃	中野　正堂	524-0022	守山市守山4-7-20	辻田ビル2階	077(514)3165・(514)3178
(一財)京都府　〃	伊吹　文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19-10		075(761)8288・(761)8287
(公社)大阪府　〃	長榮　周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1	若杉センタービル別館502号	06(6351)3345・(6351)3346
(一財)奈良県　〃	吉田　克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14	不動ビル505号	0742(32)5008・(32)5011
和歌山県　〃	世耕　弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2		073(432)7760・(432)7759
(公財)兵庫県　〃	池田　公律	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8	虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145・(802)5240
(一財)岡山県　〃	宮川　健	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1		086(235)3255・(235)3245
(一財)広島県　〃	田中　秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5		082(962)3076・(962)3087
(一財)山口県　〃	堤　慶一	753-0083	山口市後河原237-1	警察体育館別館内	083(932)5072・(932)5073
(一財)鳥取県　〃	佐伯　友茂	680-0036	鳥取市川端3-216	瀧本ビル3階	0857(29)2668・(29)2668
島根県　〃	高木　弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1	鬼村純方	0852(27)6222・(27)6222
(一財)香川県　〃	三原　悦男	760-0033	高松市丸の内4-6	アラキビル2階南	087(880)4463・(880)4467
(一社)愛媛県　〃	俊野　徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28	福泉ビル205号	089(941)9394・(941)3013
高知県　〃	渡邊　三則	781-5102	高知市大津甲2009-34		090-1009-6857
徳島県　〃	西谷　肇一	770-0861	徳島市住吉3-9-6	栗本マンション106号	088(652)2337・(652)2360
(公社)福岡県　〃	青柳　俊彦	812-0045	福岡市博多区東公園8番3号	福岡武道館内	092(712)1890・(712)1891
(一社)佐賀県　〃	川上　春生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11	佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184・(20)9888
(一財)長崎県　〃	灰谷　達明	850-0036	長崎市五島町5-34	トーカンマンション1-E	095(826)5220・(826)5220
(一財)大分県　〃	三浦　悟	870-0820	大分市西大道1-1-76	第2ハルキコーポ101号	097(547)9980・(547)9981
(一財)熊本県　〃	山下　照喜	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2	熊本武道館内	096(381)8998・(381)8998
宮崎県　〃	橋口　光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4		0985(62)3890・(62)3893
(一社)鹿児島県　〃	小松　信明	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20	県立武道館内	099(255)8778・(255)8778
(一財)沖縄県　〃	大城　朝徳	900-0026	那覇市奥武山町51-2	沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410・(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和８年11月

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則（和英版）	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥500	55	3
杖道試合・審判規則	¥500	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書（英語版）	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説（英語版）	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説（英語版）	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領（英語版）	¥3,400	858	11
剣道和英辞典（第３版）	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本（改訂版）	¥2,100	664	13
剣道医学Ｑ＆Ａ（第３版）	¥2,100	785	15
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2
剣道講習会資料	¥500	310	8

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道用具の保守・管理（英語版）	¥400	69	3
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
設立七十周年記念出版「全剣連と剣道界　この十年の歩み」	¥2,500	980	28
剣道人バッジ（ネジ・タック）	各¥1,800	13	16
FIKバッジ（ネジ）	¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,500	58	16
女子審判用ネクタイ	¥2,000	52	9
竹刀検査用基準器　ゲージ１(先革先端部最小直径計測用)	¥4,500	55	3
竹刀検査用基準器　ゲージ２(ちくとう対角計測用)	¥4,500	55	3
竹刀検査用基準器　検査台	¥12,000	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥20,000	620	28
ぶしし手ぬぐい（白・紺・黄）	各¥800	38	4
ぶししクリアファイル（５枚セット）	¥500	127	2
ぶししラバーキーホルダー	¥800	19	5
ぶししTシャツ「SUBURI」ネイビー（S・M・L・XL）	各¥2,500	226	20
ぶししTシャツ「子供用」ネイビー（90・110・130）	各¥1,300	114	10
ぶししTシャツ「子供用」白（90・110・130）	各¥1,300	114	10
ぶししぬいぐるみ	¥5,000	256	210
ぶししミニだるま（赤・緑・青・紫）	各¥1,500	35	6

★品物はすべて消費税込みとなります。
★全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画（株）に委託しております。

『購入申し込み方法』

⑴インターネットからのお申し込み…**https://zenkenren-shop.com**

⑵FAXでのお申し込み……心力舎企画株式会社　**03－3451－6905**　へFAXして下さい。
①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。
お支払い金額（品物代金＋送料）を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法（②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。）
①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替
◎発送方法・送料（送料は、ご注文の際にお知らせいたします。）
①宅配便……送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。
②メール便……（この場合、**代金引換はご利用いただけません。**）
全国一律、680円で、A4サイズ（厚さ20mmまで）の品物の配送に利用いただけます。
＊　オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

全日本剣道連盟
All Japan Kendo Federation

本日、日本武道館西口売店に
ぶししショップオープン！

NEW

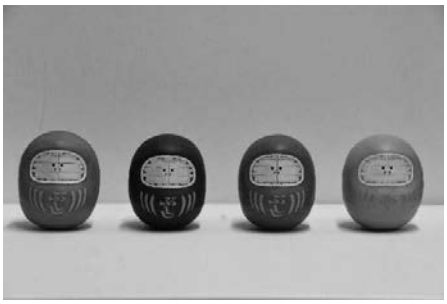
全日本選手権より
販売開始！
（数量限定）



特大ぬいぐるみ(40cm)



キーチェーン付ぬいぐるみ(15cm)



ミニだるま(4色・全長約5cm)





Tシャツ(大人用・子供用)

オンラインショップも
開店中！◀

その他のぶししグッズも多数ご用意しておりますので、ぜひお越しください！

さらに、20WKC 限定グッズも本日から発売開始！





ロゴTシャツ（黒・白）



ぬいぐるみ（白胴）

◀ぬいぐるみの胴に
20WKC のロゴマークを
入れた限定バージョン！

※限定ぬいぐるみは
お一人様一点まで

全日本剣道連盟　広報誌

月刊 剣窓

――剣道人 必読の書――

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい――切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記･総評／大会･審査会･講習会などの行事予告、要項／称号･段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分)　税・送料込４，４００円〉

（令和7年12月1日より）

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「００１００－９－１１６２５０」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

https://zenkenren-shop.com/kenso/

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074　東京都千代田区九段南 2-3-14　靖国九段南ビル 2 階

電話　03(3234)6271　FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

https://www.kendo.or.jp/

◎日本武道館発行　雑誌・書籍のご案内

心 技 体 人を育てる総合誌

MONTHLY MAGAZINE THE "BUDO"

月刊 武道

教育・健康・教養を三本柱に、役に立つ「武道人間学」の情報を満載!

毎月28日発行　定価556円(税込)　年間購読6,666円(税・送料込)



最新号の情報はこちらから！

月刊「武道」編集部 公式SNS

XとInstagramを開設しました!

月刊「武道」誌の紹介のほか、
日本武道館が主催する武道や書道に関する
事業・大会などの情報を発信していきます！

X (旧Twitter)
@Koho_Budokan

Instagram
@nipponbudokan.koho

皆様のフォローをお願いします！

日本武道館発行の単行本



剣道　その歴史と技法

埼玉大学名誉教授　大保木輝雄　著

戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を紹介。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で、改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、月刊「武道」での連載終了後 5 年の時を経てついに単行本化。

四六判・上製・516頁・定価2,640円

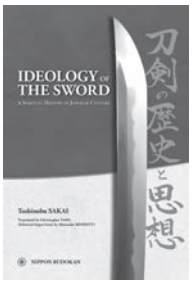


剣道の文化誌

明治大学教授　長尾　進　著

剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながらわかりやすく紹介。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひご一読を。

四六判・上製・480項・定価2,640円



IDEOLOGY OF THE SWORD
A SPIRITUAL HISTORY OF JAPANESE CULTURE

筑波大学教授　酒井　利信　著

好評発売中の『刀剣の歴史と思想』の英語版。日本独自の展開を見せてきた刀剣に関する思想を中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら確かな史料を基に考察した一冊。

電子書籍・POD版で好評発売中！

編集・発行　公益財団法人 日本武道館
ホームページhttps://www.nipponbudokan.or.jp

日本武道館出版広報課
TEL03(3216)5147

ご注文＆充実のラインナップはこちらから→



圧巻の 1,000畳 大道場！

日本武道館研修センター

**公益財団法人日本武道館が運営する当センターは、
海抜 44m の高台に位置し、宿泊利用の場合、
施設設備・冷暖房利用料が無料です！**

**武道合宿から社員研修や講習会、
一般のグループや家族旅行にも
広くご利用いただける施設です。**

■ 充実の施設設備

1,000 畳の大道場（冷暖房完備）をはじめ、弓道場（9 人立ち・冷暖房完備）、相撲道場、武道稽古も可能な第 1 研修室（冷暖房完備）など、充実した施設設備がご利用いただけます。

■食べ放題ビュッフェ＆野外 BBQ

食堂でのお食事はビュッフェ形式で食べ放題！ご予算に応じた特別料理（刺身盛合せ・オードブル）にも対応できます。

4～10 月は夕食を野外 BBQ に変更できます。

















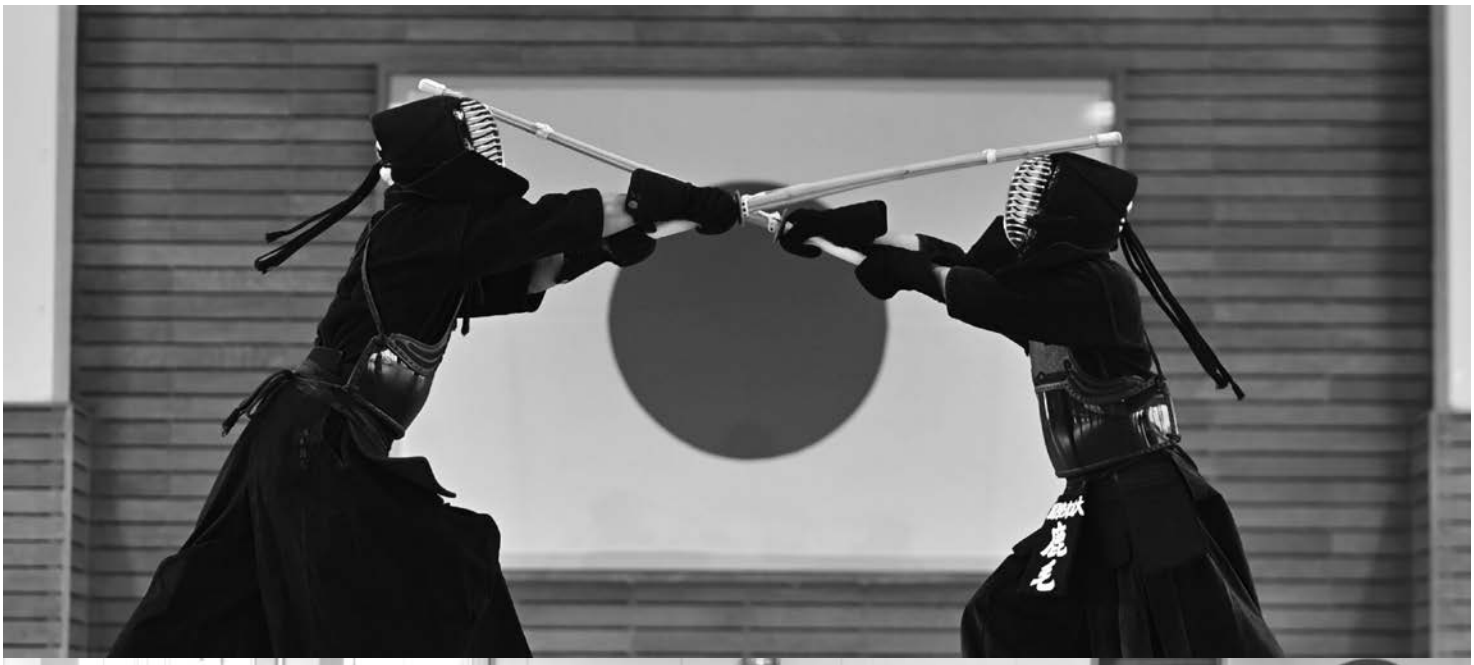
研修センター
ホームページ

最新のご宿泊料金はこちらから▶

※ご利用時期によって料金が異なります。

■お問合せ **日本武道館研修センター** 〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉 582　TEL 0470-73-2111 / FAX 0470-73-2819
※日本武道館ホームページ又は Google マップで館内の施設が確認できます。

祝 第74回全日本剣道選手権大会
第65回全日本女子剣道選手権大会





国際武道大学
INTERNATIONAL BUDO UNIVERSITY

≪体 育 学 部≫

武 道 学 科	体 育 学 科
・武道専修コース（全7コース） 柔道・剣道・弓道・空手道・なぎなた・少林寺拳法・合気道 ・武道教育コース ・武道マネジメントコース	・アスリートコース ・コーチング科学コース ・スポーツマネジメントコース ・スポーツトレーナーコース ・健康科学コース ・スポーツ教育コース

■アクセス
電車：東京駅（特急わかしお号）→勝浦駅（約1時間30分）
高速バス：バスターミナル東京八重洲地下B→高速武大入口（約2時間）

■所在地・お問い合わせ
所在地：千葉県勝浦市新官841番地【入試・広報センター】
TEL：0470-73-4144　mail：n-center@budo-u.ac.jp
LINE：『国際武道大学（入試・広報センター）で検索！

真摯に求めたい「剣道の価値」

月刊剣道日本

毎月
25日発売

昇段したい
試合で勝ちたい
楽しみたい

そんな思いに応える月刊誌です



定期購読絶賛受付中

1冊1,500円 ×12号分=18,000円(税込)



ここでしか見られない
秘蔵映像、あります

剣道日本YouTubeチャンネル

ホームページでしか買えない
書籍・DVD、多数あります



剣道日本公式通販サイト

株式会社剣道日本

〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目5―14　WISE NEXT新横浜503号室
TEL 045-534-8573　FAX 045-534-8399　E-mail post@kendo-nippon.co.jp　https://kendo-nippon.co.jp

月刊 KENDO JIDAI 剣道時代

おかげさまで創刊52周年

剣を学び、道を学ぶ。剣道時代は「読む」剣道である

稽古で強くなりたかったら剣道時代。
試合で勝ちたかったら剣道時代。
昇段審査で合格したいなら剣道時代。
そして、剣道を人生の糧としたかったら剣道時代。
あなたの剣道時代は読む剣道です。

これからも
剣道の普及と発展のために
がんばります。
毎月25日発売／定価1,100円（税込）
年間購読料＝13,200円



昨年の大会より







最新号 12月号 定価1100円（税込）

特集 剣先で中心を割る。身体で圧する

秋冷企画 同級生交歓

松脇伸介（警視庁）×木和田大起（大阪府警）

連載

剣道自分史　横尾英治範士

特報 全日本東西対抗長野大会

剣道時代の本

正しい剣道の学び方

恩田浩司



B5版 148ページ　定価 1,980円
ISBN 978-4-88458-454-2

定期購読のすすめ

書店に買いに行く暇がない忙しいあなたには定期購読がおすすめです。定期購読のお申し込みをすると、あなたのお手元に毎月お届けします。しかも特別定価の差額、送料は当社負担（国内）ですから、お得です。

定期購読料　1年間＝13,200円

お申し込み方法　①銀行口座振替、②営業部から「振替用紙」を送ってもらう、③郵便局にある「振替取扱票」を使う

以上①から③いずれかの方法でお申し込みください。
①の場合は、電話・FAX・Eメールにて、あなたの住所、氏名、電話番号と「20○○年○月号より口座引落で剣道時代定期購読」とお申し込みください。後日、自動口座引落しのための申込書類を送付します。
②の場合は、電話・FAX・Eメールにて、上記所定事項および「20○○年○月号より振替用紙で剣道時代定期購読」とお申し込みください。後日、振替用紙を送付します（コンビニでも郵便局でも手数料無料で簡単に送金できます）
③の場合は、郵便局に備え付けてある振込用紙に、あなたの住所、氏名、電話番号そして「20○○年○月号より剣道時代定期購読」と通信欄に記入してください。送金先は下記のとおりです。

口座番号＝00100・7・25587　加入者名＝株式会社体育とスポーツ出版社

※銀行振込による送金希望の場合は、かならず営業部までお問合せください。振込先口座を別途ご案内します（送金先は上記ではありません）

㈱体育とスポーツ出版社

編集部　〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-6 宮川ビル2階 小林事務所
電話 03(6265)6554　FAX 03(6265)6553
※大会ニュース・投稿などは編集部へお送りください

営業部　〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 3F
電話 03(6660)3131　FAX 03(6660)3132
※定期購読・購入方法などは営業部にご連絡ください

昂ぶらず冷めず。常ならざる姿が常になる。

株式会社 松興堂 × phiten

松興堂 剣 シリーズ

佇まいが語る剣士が求める美しさ、日々に応える実用性。

風格は、藍染。機能は、次世代。



酷使する剣道衣に扱いやすさと風格を

藍染風の深い表情と機能性を重ねた「ジャージ剣道衣」

伝統の趣を纏いながら驚くほど軽快で実用的

現代の剣士に贈る織刺仕立の表情を重ねた一着



内襟に纏う
アクアチタン
生地繊維

《剣》シリーズ

ファイテン
ジャージ剣道衣 藍染風織刺仕立
ポリエステル100% 〈速乾、抗菌性〉

1号／1.5号／2号	13,500円＋税
2.5号／3号／3.5号／4号	14,000円＋税
4.5号／5号	14,500円＋税

AQUA TITAN

アクアチタンとは、ファイテン社の水溶化メタル技術によりチタンをナノレベルで水中に分散したものです。

伸縮性に優れた生地はカラダのあらゆる動きにも安定した着圧を保持。少ないチカラでタテ、ヨコの動きに対し自在に伸縮します。アクアチタンとは、ファイテンの水溶化メタル技術によりチタンをナノレベルで水中に分散したものです。身につけることでカラダのリラックスとリカバリーをサポートします。

健康を支えるボディケアカンパニーのファイテン
ファイテン株式会社 公式サイト https://www.phiten.com/

ファイテンジャージ「唯一、松興堂」

株式会社 松興堂

渋谷店 / 東京都渋谷区道玄坂２-17-３　Phone.03-3463-0471

※本商品はファイテン社の独自技術を取り入れたコラボレーション商品です。

二分手刺剣道具

グノメ刺　紺革仕立



布団芯材には
真綿と新毛氈、
紺鹿革は最高級革
正藍染革を使用。
脳天部は厚く
下り部は薄く
仕上げました。
大変に使いやすい
剣道具です。

面　：IBB-SD衝撃吸収面金
　　顎つぶし刺５段飾
胴　：胴台　50本型黒樹脂胴
甲手：総紺鹿革頭一重ケラ先折れ
垂　：二分手刺グノ目刺５段飾
胸　：４種類より選択
　　（セット写真は総刺濃紺糸）



つぶし刺鬼雲



つぶし刺麻の葉



変わり三階松雲麻の葉

森 武道具 株式会社
電話：０３－３６６１－０４６９
東京都中央区日本橋小伝馬町6-12

清酒発祥の地 伊丹
ブルワリービレッジ
白雪 長寿蔵

TEL：072-773-0524
FAX：072-773-1165
営業時間 /10：00 ～19：00
定休日 / 毎週火曜日、1 / 1
※都合により、営業日・営業時間は変更となる場合がございます。

長寿蔵 オンラインショップ
http://choujugura.com/

1・8ℓ瓶詰
（化粧箱のご用意もございます）

KONISHI
小西酒造株式会社

創業1550年 小西酒造ホームページ
http://www.konishi.co.jp/
お客様相談室：072-782-5251
（土、日、祝日を除く9時～17時）

飲酒は20歳になってから。
お酒は、おいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

超特撰 白雪
伊丹諸白
本醸造
いたみもろはく

伊丹 地理的表示
ITAMI
Geographical Indication

伊丹諸白は、ＧＩ伊丹 認定酒です

地理的表示 伊丹
二〇二四年十一月二十九日に国税庁長官の指定を受けた、伊丹で造られた日本酒を保護する地理的表示制度です。

超特撰 伊丹諸白 本醸造 七二〇㎖

KENBU-DO
人と武道の明日を考える

豊富な品揃え
建武堂では都内有数の広い売り場スペースに各種商品を豊富に展示しております。是非一度御来店下さい。

アフターフォロー万全
あなたにあった道具のカウンセリングからアフターフォローまでをサポートいたします。

ここまで使ってもらうとほんとに嬉しい
建武堂に帰ればいくら疲れてもまた戦える

道具のつぶやき

株式会社 建武堂
営業時間AM10：00～PM7：00
（日曜・祭日はPM6：00まで）毎週月曜定休
〒170-0013東京都豊島区東池袋1-15-1菱山ビル2F
TEL 03-3971-4840(代)
FAX 03-3971-4461
URL:http://www.kenbu-do.co.jp/
e-mail:information@kenbu-do.co.jp



日本武道館常設売店

輝いた自分へ 贈り物を

信頼と品質を大切に、大会を盛り上げます。

安心の常設売店
試合の合間にいつでもご来店いただけます。

豊富な品揃えで安心サポート
お食事から記念品まで幅広くご用意しています。

大会記念・オリジナル商品が充実
当店でしか買えない限定アイテム多数

取扱商品

お弁当各種	ボリューム満点のお弁当を多数ご用意。
軽食	アメリカンドッグ、焼きそば、唐揚げなど出来立てをお届け。
飲み物	冷たい飲み物を各種取り揃え。
大会記念品・オリジナルグッズ	大会の思い出になる限定グッズが充実。

大会記念・オリジナルグッズが大好評



大会手ぬぐい
伝統技法「注染」
毎年変わるデザイン。



刻印プレート付キーホルダー
大会名や個人名などがプレートに刻印できます。

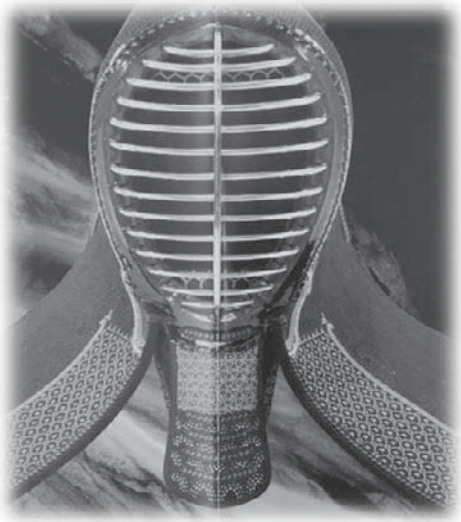


大会フェイスタオル
安心の日本製。
今治産タオル。

KENDO_BUDOKAN
< 剣道グッズ >

道場名や大会名を入れたオリジナル制作も承ります！！

株式会社 光洋商事
〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 1-10-19
TEL：046-278-2288 FAX：046-272-5822
Mail： yamato-branch@koyoshoji.biz
URL： https://koyoshoji.biz/



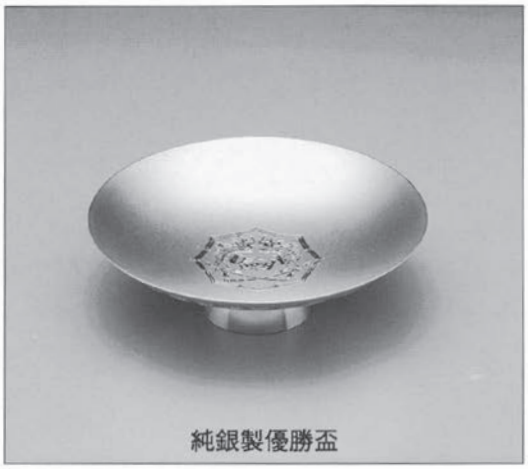
伝統の技術を守り
よりよい武道具の
ご提供を目指しております。

営業時間
火～土 10:00～19:00
日曜祭日 10:00～18:00
毎週月曜定休日

商標 荒井 東京 王子
株式会社 アライ武道具
東京都北区王子2丁目28番10号
TEL 03(3911)8694（月曜日定休）
FAX 03(3911)8545


祝 第74回全日本剣道選手権大会
第65回全日本女子剣道選手権大会
天
Ten
選ばれ続けてきた必然
峰
謹製
MINE -KINSEI-
日本製
最高級ミシン刺剣道具
武道用品の総合メーカー
株式会社ミツボシ
事業本部：TEL 077-535-9136
www.mitsuboshi-budo.co.jp
〒520-0357 滋賀県大津市山百合の丘 10-26


祝
第74回全日本剣道選手権大会
第65回全日本女子剣道選手権大会
外テントにて
元気に出店中!!
SNSや
オンラインショップは
↓こちらから↓
@JOSAIBUDOGU
制覇
SEIHA
(株)城西
JOSAI
武道具
TEL 043-285-3876 FAX 043-285-3771
千葉県千葉市稲毛区作草部1-4-8【定休日】毎週火曜日





各種記念品から表彰カップ・トロフィーまで
心のこもったオリジナリティーの高い商品をお届けいたします。

お問い合わせは
ENEOSトレーディング株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13（東京建物日本橋ビル）
www.etr.eneos.co.jp
TEL 03-6262-2700
営業時間／9:00～17:30［月～金］

尚武
尚武堂産業株式会社
〒113-0033　東京都文京区本郷1-4-6
TEL 03-3815-0411
e-mail shobudo@mountain.ocn.ne.jp
URL： http://www.shobudo.co.jp/
営業時間　定休日水曜
AM11:00～PM7:00(月)～(土)AM11:00～PM6:00(日)・祝

真剣&名刀写し&居合稽古刀

拵部品各種・換え鞘も取り揃えてございます。

✻剣道 ✻柔道 ✻空手道 ✻合気道 ✻居合道 ✻剣詩舞道 ◢用品◤

KENDO JUDO KARATEDO AIKIDO IAIDO KENSHIBUDO

SAKURA

TEL 03-3262-1969

武道具デパート

KUDAN-SHITA TOKYO

九段下

株式会社 櫻屋

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-4
地下鉄 九段下駅 3番出口前 九段下四つ角

◀営業時間 10時～7時

◀定休日毎週水曜日と日曜日

www.sakuraya.org

プリ・テック株式会社

本 社
〒445-0811 愛知県西尾市道光寺町山田1番1
TEL.0563-55-0707 FAX.0563-55-0202

名古屋支店
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目2番10号
TEL.052-588-5822 FAX.052-588-5931

東京支店
〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-16
TEL.03-5800-8961 FAX.03-5800-4430

プリ・テックグループ

半田中央印刷株式会社
〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-21
TEL.0569-29-2525 FAX.0569-29-4500

トーヨー印刷株式会社
〒507-0065 岐阜県多治見市根本町12-144
TEL.0572-29-3346 FAX.0572-29-3772

プリテックメディア株式会社
〒445-0815 愛知県西尾市菅原町258
TEL.0563-55-0700 FAX.0563-55-0701

有限会社プリテックジャパン
〒475-0024 愛知県半田市亀崎高根町3丁目
105番地の13 TEL.0569-20-1020

プリ・テックグループは全ての事業所で
プライバシーマークを取得しています。

www.pritech.co.jp

まず、気づくことがご提案の第一歩です。

P.T.C. GROUP

マーケティング・プランニング・デザイン・DTPから
印刷・仕上げまで、トータルにサポートいたします。

霞流くの字甲手

特許取得済み
商標登録済み

《大好評発売中》
アスリートモデル
白ラベル

極めて軽量！
卓越した手首の柔軟性
しっかり握れる！

霞流くの字甲手《白ラベル》は、手首の自然な可動域全体にスムーズな動きが可能となるように設計されており、繊細かつ正確なパフォーマンスが最も要求される試合で真価が発揮できるように工夫されています。
もちろん練習にもおすすめ致します。

▼実戦型アスリートモデル
白ラベル：￥19,360（税込み価格）

▼ベストセラーくの字（サイズにより価格が異なります）
青ラベル：￥15,730～（税込み価格）

[国産/お誂え] 白ラベル
￥49,500～（税込み価格）

《新発想》貼らないテーピング

テーピング理論を編み込み部位ごとに異なる
圧力でサポートするので、いわゆるテニス肘や
前腕筋群周囲の悩みにおすすめです

日本製
Size: M / L
¥2,200(込)

剣道やテニスなどのスポーツ
工具の使用や製造組み立て業務
家事や子育てなど日常作業・他

ひじ保護サポーターEX

※本製品は治療用品ではありません。

霞流剣道具製造元
株式会社 福田武道具
KENDO & Martial Arts Products
FUKUDA BUDOGU co.,Ltd.

Japan. Tax-free Shop

※価格および仕様は予告なく変更される場合がございます。

[Official Store]
Fukuda Budogu
https://www.f-budogu.jp/

Japan. Tax-free Shop
Phone. 048-465-5771（代表） Fax. 048-465-9370　〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-6-43（定休日：火曜日/第一月曜日）
2-6-43 honcho Asaka-Shi, Saitama 351-0011, JAPAN　--- Closed on Tuesdays and First Monday of every month ---

KENDO EQUIPMENT CLEANING

剣道防具を洗う

プロの「洗い」を体感してください

防具に付いた嫌なニオイをしっかり除去。
さらに、「抗菌&防臭加工」を施しますので、
使った後に嫌なニオイが付くのも防ぎます。



防具専門クリーニング
武蔵坊☆剣洗

剣道防具クリーニング＋染めリメイク専門

全国展開キャンペーン

※手刺・ミシン刺・子ども・大人でも一律料金です。

品　目		定価(税別)
面	クリーニング	2,700円
	藍染めリメイク	2,200円
	面縁リメイク　黒塗り・朱塗り	2,200円
小手	クリーニング(1組)	2,700円
	クリーニング(銃剣道片手)	1,350円
	藍染めリメイク(1組)	2,200円
	藍染めリメイク(銃剣道片手)	1,100円
垂	クリーニング	2,700円
	藍染めリメイク	2,200円
胴	クリーニング	1,600円
	磨きコーテイング	1,700円

※当社からお客様のもとへ返送する際の送料は、全国一律1,300円です。

品　目		定価(税別)
道着	剣道着アスリートクリーニング	2,200円
袴	剣道袴アスリートクリーニング	3,600円

クーポンコード
『剣洗なかよし』

防具クリーニング
武蔵坊 剣洗

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-5-6
TEL/0120-439-229　FAX/0422-60-2948
HP　http://bougu-kensen.com/

お支払いは、Amazon Pay・カード決済orお振込・代金引換がご利用頂けます。

詳しくはホームページへ

パソコン、スマートフォンにてご注文承ります。

武蔵坊剣洗　検索

LINE　X　Instagram　Facebook　ページあります。

剣洗って？


www.matsukan.jp
祝 第74回 全日本剣道選手権大会
第65回 全日本女子剣道選手権大会
勘
松勘
冠
KANMURI
閃
HIRAMEKI
活人
KATSU JIN
勘 松勘工業株式会社
MATSUKAN_KENDO

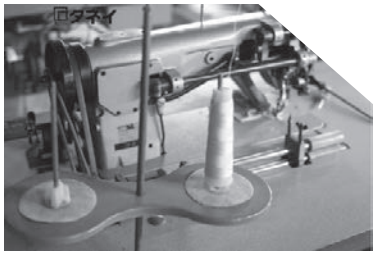
剣道具選















【HP】
https://kendopark.jp/

【FB】
https://www.facebook.com/kendopark07/



代表　永松 謙使
E-mail: info@kendopark.jp

びに、革命を起こせ。

KENDO PARK

剣道具専門
通販セレクトショップ

✓ 全国の店舗と提携
老舗から新興店まで、20店舗以上と提携!

✓ 豊富な商品ラインナップ
良品のみを良心価格で提供!

✓ 最新剣道情報が満載
剣道を楽しむための記事メディア Kenjoy!

SPACES
MOMENTS
INSPI
RATION

空間に、瞬間に、感動を。

世界でひとつの空間を創り、
一生心に残る瞬間を紡ぎ、新たな感動を生み出していく。
私たちムラヤマは、空間とコミュニケーションづくりの
プロフェッショナルです。

〒135-0061
東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア
TEL：03-6221-0808（代表）

www.murayama.co.jp

Murayama 株式会社ムラヤマ

凡事徹底



誠実を信頼に、信頼を実績に

相続・遺言・民事信託

成年後見・各種登記

かとうグループ

代表司法書士 加藤 裕
（司法書士法人かとう/税理士法人かとう/行政書士加藤事務所）

TEL 047-712-1778

〒270-0034千葉県松戸市新松戸2-121-6F
Mail info@katooffice.com
HP https://katooffice.com/

お問合せの際に「剣道広告を見た」とお知らせください
会社や法人の法務など、その他の業務も対応しております
全国対応/海外の方からの相談もお受けしております

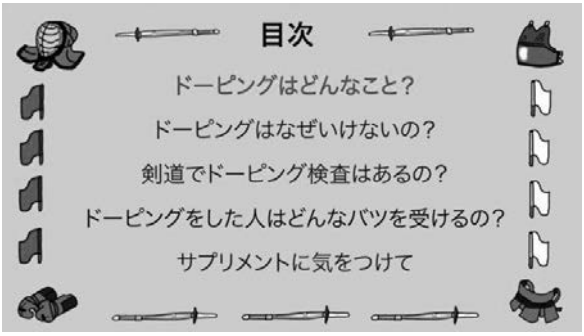
全剣連アンチ・ドーピング委員会よりご案内



▲動画はここから

本動画は小中学生の方にアンチ・ドーピングを知っていただくために作成しました。短い動画ですので、お気軽にご覧ください。

全剣連アンチ・ドーピング委員会





公益財団法人
全日本剣道連盟
All Japan Kendo Federation



剣道やろうよ!

Ready, Set, Kendo!

礼儀(れいぎ)をまなび、
技(わざ)をみがき、
強い心をはぐくむ。

剣道は、剣の心を学び、
人としての成長を目指す「人間形成の道」です。

子どもも大人も、
始めるなら今がそのとき。

#剣道未来プロジェクト で
あなたの日々の中にある「剣道の魅力」を届けてください!

ぜひご参加を!



全日本剣道連盟
剣道普及キャラクター
「ふしし」

Instagramで ＃剣道やろうよ ＃剣道未来プロジェクト をつけて投稿してください!
寄せられた投稿の一部は、全日本剣道連盟公式SNSでご紹介します。

詳しくはこちら
剣道未来プロジェクト
特設サイト

20th WKC
The 20th World Kendo Championships Tokyo 2027

第20回 世界剣道選手権大会

期日:2027年5/27(木)~5/30(日)
開催地:日本武道館

剣道って？

剣道は、「竹刀」をつかう武道だけど、それだけじゃないよ！

① こころとカラダをそだてるもの

剣道の稽古では、
「つよい気持ち」と「正しい姿勢」を
身につけられるよ。



② 礼をたいせつにする

相手をたいせつにし、
しっかりあいさつすることで、
「思いやりのこころ」も育つんだ。



全日本剣道連盟 剣道普及キャラクター
「ぶしし」

③ 生涯ずっとつづけられる

子どもから大人まで、
一生たのしめる。
こころもずっと元気！



剣道を始めてみよう！

どこでも見学・体験できるよ！

近くの【道場・剣友会・クラブ】に
行って、まずは見学から。

はじめてでも大丈夫！

竹刀の持ち方、基本姿勢から
しっかり教えてもらえるよ。

家族で参加もOK！

子どもと大人、一緒に
剣道に挑戦しよう！

さあ、あなたも一歩を踏み出そう！
道場・剣友会・クラブはいつでも大歓迎！

無料体験もあるので、まずは見学からOK！

地域道場・剣友会・クラブ
見学・体験受付中！

「剣道未来プロジェクト」とは

剣道を「知る」「見る」「体験する」ことを通じて、
子どもや若者たちにその魅力を感じてもらい、未来につながる剣道文化の継承を目指しています。
今後、さまざまな広報活動やイベントを通じて積極的に取り組んでいきますので、ご期待ください。

剣道 世界大会 応援クラブ



剣道普及キャラクター
「ぶしし」

国内外への剣道普及を目指して

会員募集

剣道界最大のイベントである国際剣道連盟主催の「世界剣道選手権大会（WKC）。令和９年（2027）に日本で開催される「第 20 回世界剣道選手権大会（20WKC）」を契機に、全日本剣道連盟（全剣連）のWKCに関する活動を支援し、国内外への剣道振興に繋げる「剣道世界大会応援クラブ」を創設します。剣道愛好者のみなさまから賜りましたご支援を原資として、全剣連の WKC 活動及び積極的な国内外での普及活動に活用させていただく制度です。みなさまのご賛同よろしくお願いいたします。

●年 会 費　**団体会員……１口 ３０,０００円／年（上限１団体 10 口まで）**
個人会員（18 歳以上）……１口　５,０００円／年（口数に上限なし）

●入会方法　剣道世界大会応援クラブ特設サイト https://ouenclub.com よりお申し込みください。
クレジットカード決済もしくは口座自動引落いずれかでのお手続きとなります。

●会員資格　**団体、個人とも入金日より１年間とします。（※次年度より自動継続）**

有効期限　全剣連ＨＰに会員名簿を掲載。（※希望者のみ）

●特　　典　次の特典を用意しております。**※メールアドレスの登録が必須となります。**（資格を得た時点から遡っての特典を受けることはできません。）①記念品（キーホルダー・ステッカー等）、②全剣連機関誌『剣窓』送付（団体会員電子版＋冊子版３部、個人会員電子版）、③全剣連剣道カレンダー送付、④全剣連主催の一部の講習会参加費および頒布品割引、⑤大会入場料関連（全日本剣道選手権大会の前売り先行申込の権利及び自由席招待券、第 20 回世界剣道選手権大会の入場券先行申込）、⑥全剣連所蔵の映像視聴サービス、⑦［**団体会員限定**］所属の道場・剣友会等の紹介動画を全剣連ＨＰに掲載（※応募フォームの要項に従って撮影の上、ご応募ください）等を予定。

現在『剣窓』の購読者も「剣道世界大会応援クラブ」に申し込めます!!

現在『剣窓』を購読されている方が申し込まれる場合は「愛読者特典」として、申込時点での残りの購読期限分を「会員資格有効期限」の１年間にプラスして延長させていただきます。次回の購読料は、会員申込手続きで選択された「クレジットカード」もしくは「口座自動引落」のいずれかで、プラスされた延長期限終了後に申込口数分の年会費のご入金をお願いいたします。『剣窓』は引き続き冊子版１部と電子版をお楽しみいただけます。

●問合せ先
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル２階
公益財団法人全日本剣道連盟 総務部マーケティング室
TEL：03-3234-6271　FAX：03-3234-6007

▶こちらのQRコードからも申し込めます。

第20回世界剣道選手権大会



20th WKC

The 20th
World Kendo
Championships
Tokyo 2027

2027年5月27日(木)－5月30日(日)日本武道館

主催：国際剣道連盟　主管／共催：全日本剣道連盟／読売新聞社

剣道国際大会に関わる
寄付金募集趣意書

謹啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、全日本剣道連盟の活動にご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。

さて、2027年5月27日(木)～30日(日)に第20回世界剣道選手権大会が東京で開催されます。3年ごとに開催されるこの大会は、2015年以来12年ぶりに我が国が主管を務める大きなイベントであり、世界60余ヶ国・地域からの参加が見込まれます。

1970年に開催され17ヶ国・地域が参加した第1回世界選手権大会以降、国際剣道連盟への加盟国は増え続け、第10回大会からは女子の試合も加わり参加者も年々増加、剣道は着実に国際的に規模が拡大しています。特に今回、イタリアにおける前回大会で完全優勝を遂げた我が国としては、これまでの歴史と志を『受け継ぎ、前へ』(大会スローガン)、世代を超え国境を越え、剣の心を受け継ぎながらともに未来を切り拓いていく大会にしたいと願っています。

この大会に向けて剣道関係者は一丸となって努力致しますが、成功を遂げるためには運営費や設備費など多くの資金が必要です。つきましては、本寄付金お願いの趣意をご理解頂き、下記要領にてご支援とご協力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。お寄せ頂きましたご厚志は、本大会に加えて剣道の正しい普及と発展にも活用させて頂きたいと存じます。

謹白

令和8年11月3日

公益財団法人 全日本剣道連盟
会長　真砂 威

記

[目的]
2027年5月に東京で開催予定の第20回世界剣道選手権大会の準備および運営を日本が主管国として実施し、剣道の発展とともに日本の伝統文化である剣道を国内外に普及する 。

[寄付金の使途]
・第20回大会にふさわしい大会の運営　・デジタル掲示板やIT機材等の手配による円滑な大会進行
・ポスター類の配布やSNSを通じた幅広い広報活動　・その他準備事業を含む円滑な大会の準備と実施全般

[寄付金額]
企業、団体、個人とも、特に金額を設定しておりませんので、可能な範囲でご寄付をお願い致します 。既に実施しております世界大会応援クラブを通じてのご支援も、ご都合に応じてご利用頂ければ幸いです 。なお、世界大会応援クラブは第20回世界剣道選手権大会終了後も継続して参ります 。

[募集期間]
2026年(令和8年)5月～2027年5月

[寄付方法]
銀行振り込み　または　コングラント　https://congrant.com/project/zenkenren/22292

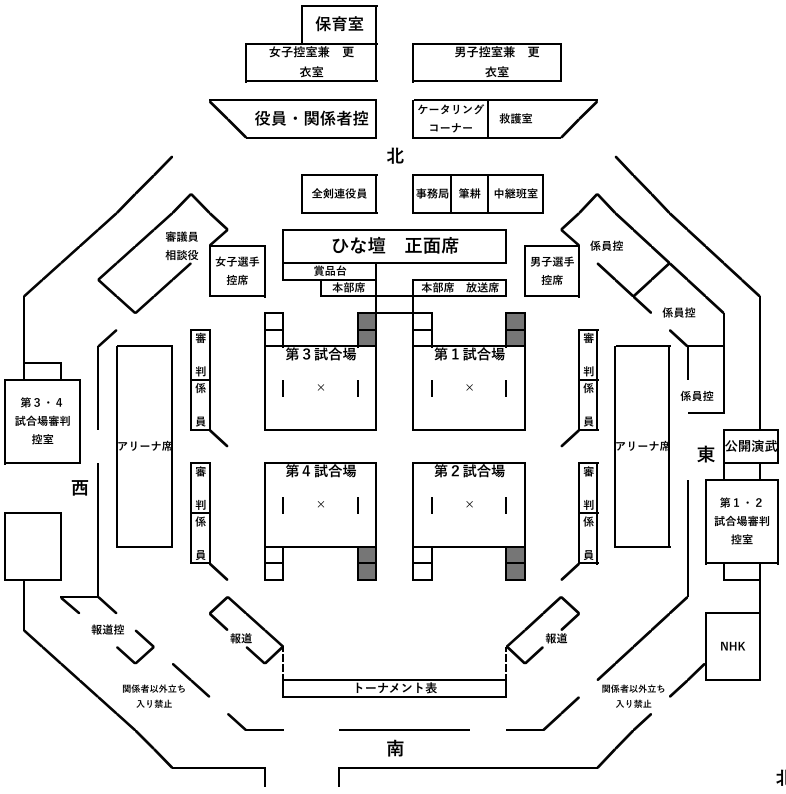
[振込先口座]
三井住友銀行　本店営業部(店番号200)　普通　3945063　名義:公益財団法人 全日本剣道連盟
(コウエキザイダンホウジン ゼンニホンケンドウレンメイ)

[備考]
・寄付者の公表 寄付者として『剣窓』等にお名前を掲載させて頂く予定です。
　掲載が不可の場合は総務部(03-3234-6271)までお知らせ願います 。
・税制上の取り扱い 全日本剣道連盟は公益財団法人であり、本財団に対する寄附金には、税制上の優遇措置が適用されます。
・個人寄附の場合(所得控除):その年の、対象団体に対して行った寄附合計額のうち2000円を超える金額につき適用されます。
・法人寄附の場合:通常の一般寄附金の損金算入限度額と別枠で、損金算入が認められます。
※詳細は所轄の税務署または税理士にお尋ねください 。

QRコードから
ご寄付いただけます。

〔会　場　図〕

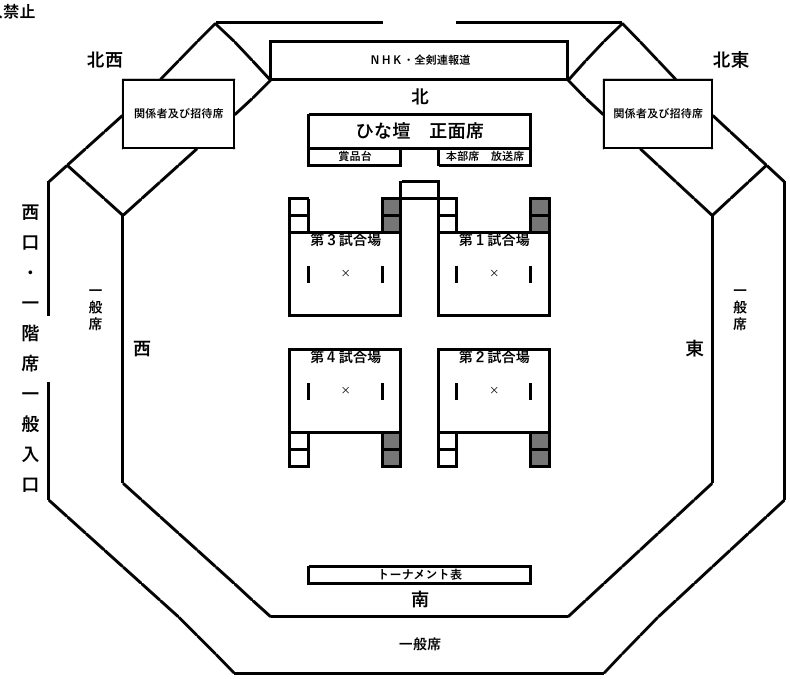
アリーナ階　試合場配置図



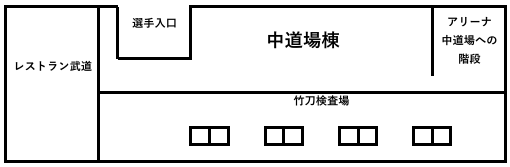
中道場入口　※選手・付添い以外立入禁止

１階席配置図

北口：役員・審判団入口



中道場棟口：選手・付添い入口



私たちは《剣道》を応援しています

メルコグループ

JX金属

NTTグループ

SAGAWA

JAPAN AIRLINES

All Japan Budogu Cooperative
全日本武道具協同組合

Valor Holdings

東洋水産

JPロジスティクス

TOMOWEL
共同印刷株式会社


ぶし